

---

## 4. 訪問診療の提供地域に関する地図分析

※注記 以降の頁において、「訪問診療を提供している地域」を単に「受診可能地域」と略記する。

## 4-1. 地図分析に関する特記事項（1 / 2）

### （1）本章の構成について

- はじめに、秋田県全体について、地図分析の結果を示す。
- 次に、医療圏毎に、合計4点の地図を用いて分析の結果を示す。
- 地図上、道路は青い線、または灰色の線で示す。県の境界、医療圏の境界は赤い線で示す。

### （2）秋田県全体の地図分析について

- アンケート調査票を配布した診療所・病院の位置、及び訪問診療を提供している診療所・病院の位置を地図上に点で示す。
- 現在の受診可能地域、及び10年後の受診可能地域を、診療所・病院を中心とする同心円で示す。
- 現在の受診可能地域と10年後の受診可能地域の差分を示す。差分は、①10年後訪問診療が提供されていると考えられる地域（今後実施）、②現在受診可能地域であって10年後も受診可能地域であると考えられる地域（継続実施）、③10年後には受診可能地域ではないと考えられる地域（今後中止）の3つの地域を示す。

### （3）医療圏毎の地図分析について

- 分析結果は、はじめに①現在、診療所・病院が訪問診療を提供している地域（受診可能地域）を示す。②現在と10年後の受診可能地域の変化を示す。③診療所・病院が現在訪問診療を提供している患者数を示す。④現在、診療所・病院で訪問診療を行っている医師数を示す。
- 上記①②の分析は、受診可能地域を可視化する目的で行う。上記③④の分析は、受診可能地域の可視化を補足する目的で行う。現在と10年後で受診可能地域に変化がない場合でも、患者数と医師数の需給関係に変化がある場合には、地域の訪問診療に影響があると考えられる。

## 4-1. 地図分析に関する特記事項（2 / 2）

### （4）受診可能地域（同心円で表示）の大きさ

- アンケート調査票の問3-6（1）（訪問診療の際の移動時間と距離）の回答を用いて二次医療圏毎に移動速度を計算。その結果に各診療所・病院の移動時間を乗ずることにより、同心円の半径を算出した。計算した半径を用いて診療所・病院の住所を中心とする同心円を描いた。
- 診療所・病院の住所は、秋田県で管理する住所リストに従った。ただし、地図上に診療所・病院がプロットされている位置は、厳密に正確なものではない。

### （5）10年後、訪問診療を提供している地域

- 10年後の受診可能地域の図示において、現在訪問診療を実施しており、10年後は訪問診療を中止していると回答した診療所・病院の同心円は削除した。
- 現在訪問診療を行っておらず、10年後に訪問診療を行っているとは回答した診療所・病院は、半径16Kmの同心円を描画した。

### （6）10年後、訪問診療を行っている医師の数

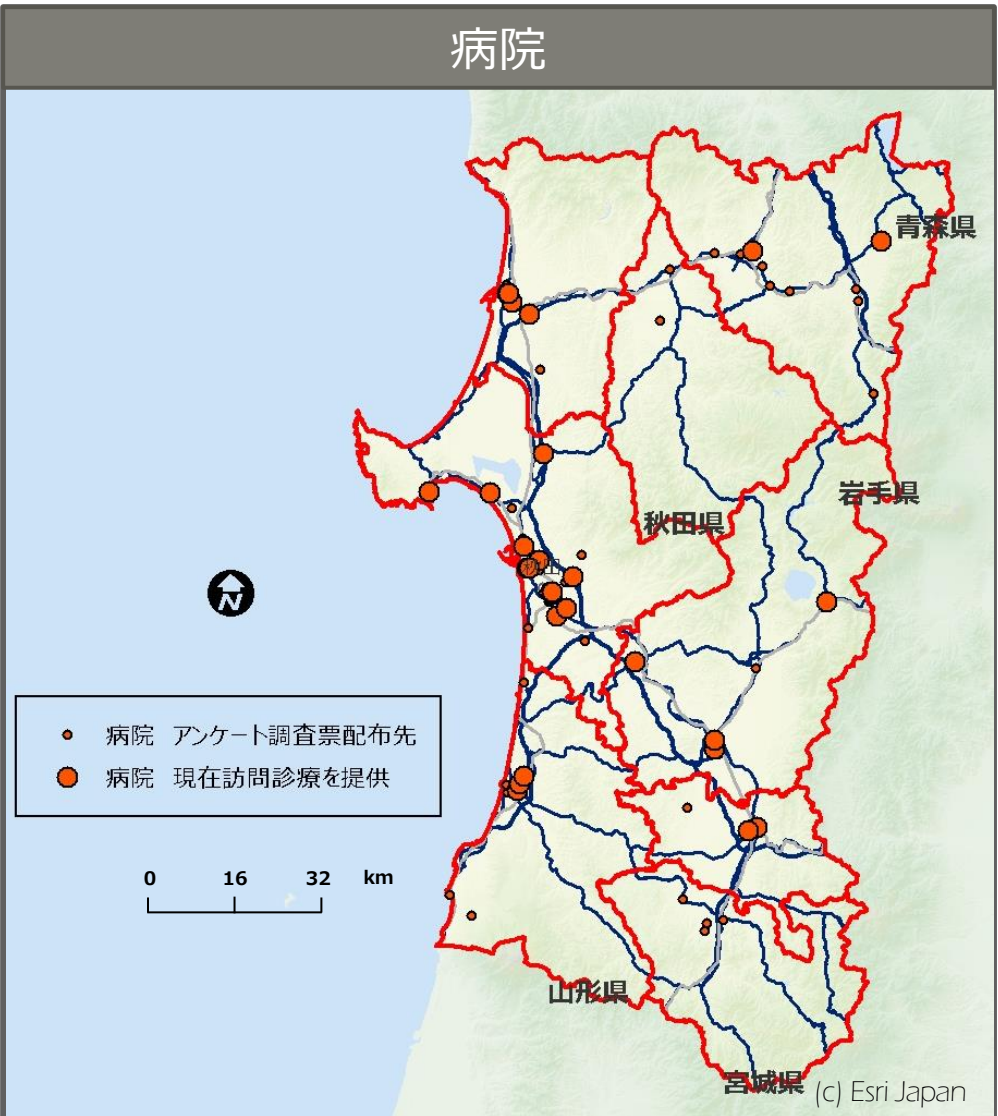
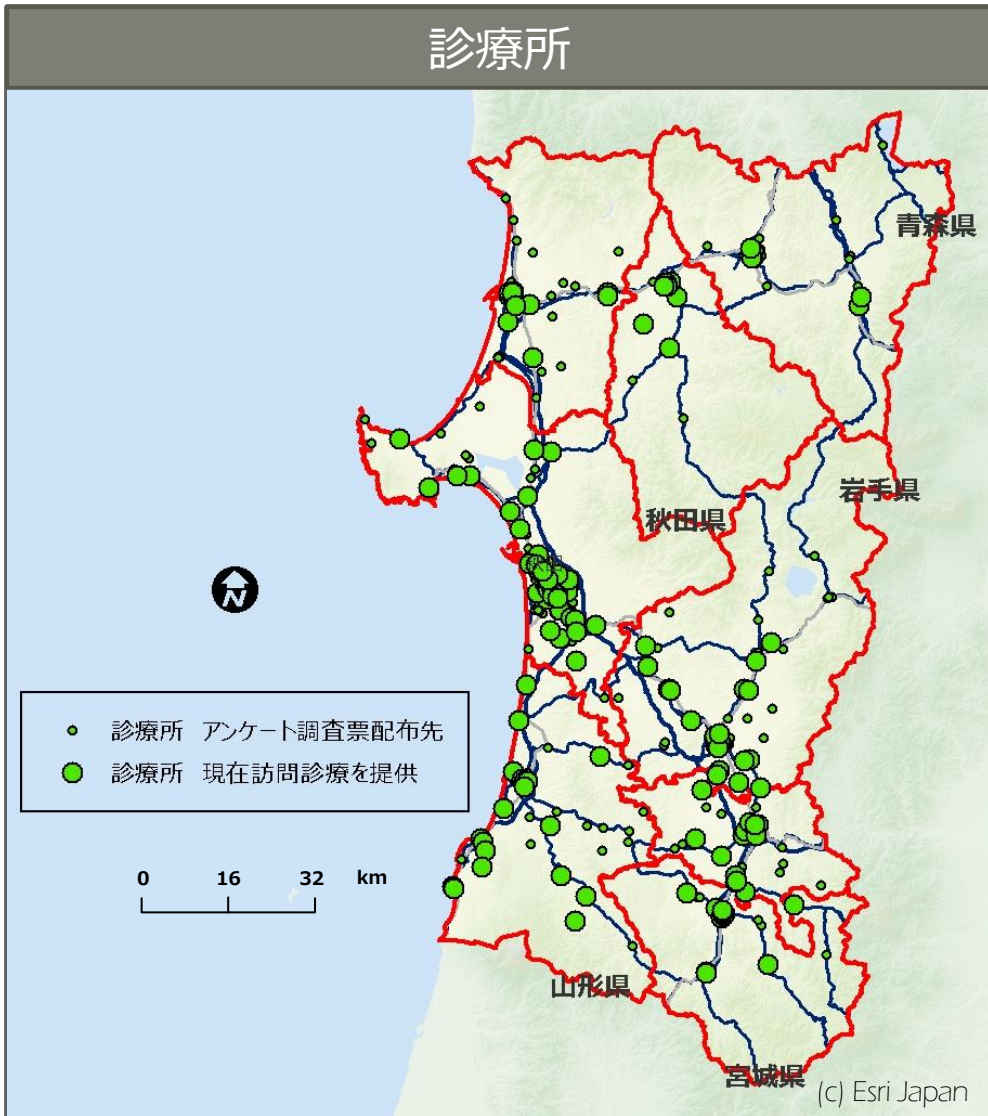
- 現在訪問診療を提供していると回答した診療所・病院は、10年後も同数の医師が訪問診療を行うと仮定した。

### （7）本書における「地域」の記載

- 本書では、秋田県の県土よりも狭い地理的範囲を「地域」と記した。一般的に、「地域」に類する意味で使用される「地区」との併用を可能な限り避けるため、「無医地区」など公に定義された用語を除き、慣例的に「地区」と呼称されている地域についても、以降では「地域」と記した。

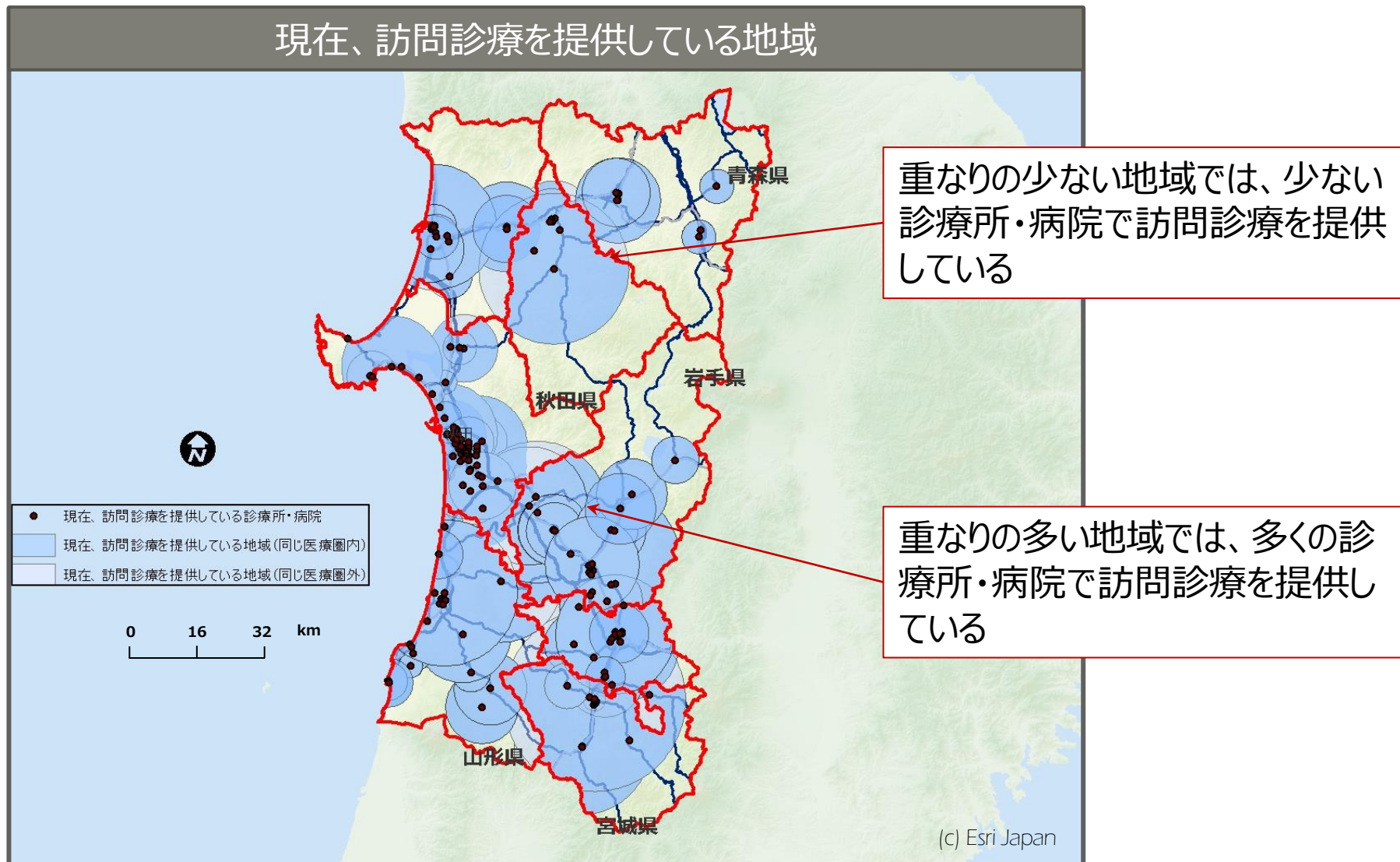
# 4-2-1. 現在、訪問診療を提供している診療所・病院

■ アンケート調査対象の診療所・病院、及び現在訪問診療を提供している診療所・病院を下図に示す。



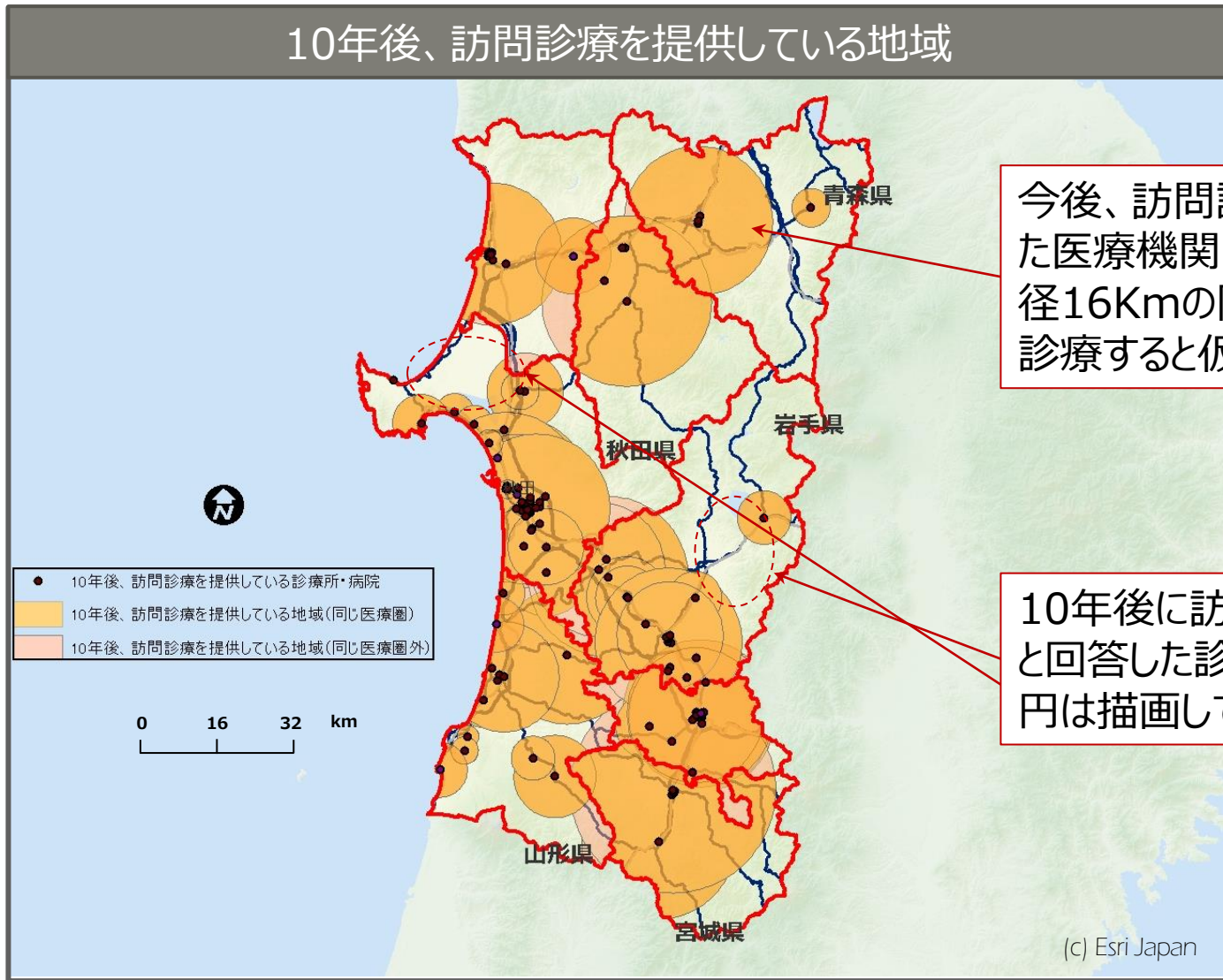
## 4-2-2. 現在、訪問診療を提供している地域

- 県下で、現在訪問診療が提供されている地域を示す。



# 4-2-3. 10年後、訪問診療を提供している地域

■ 10年後の受診可能地域を下図に示す。

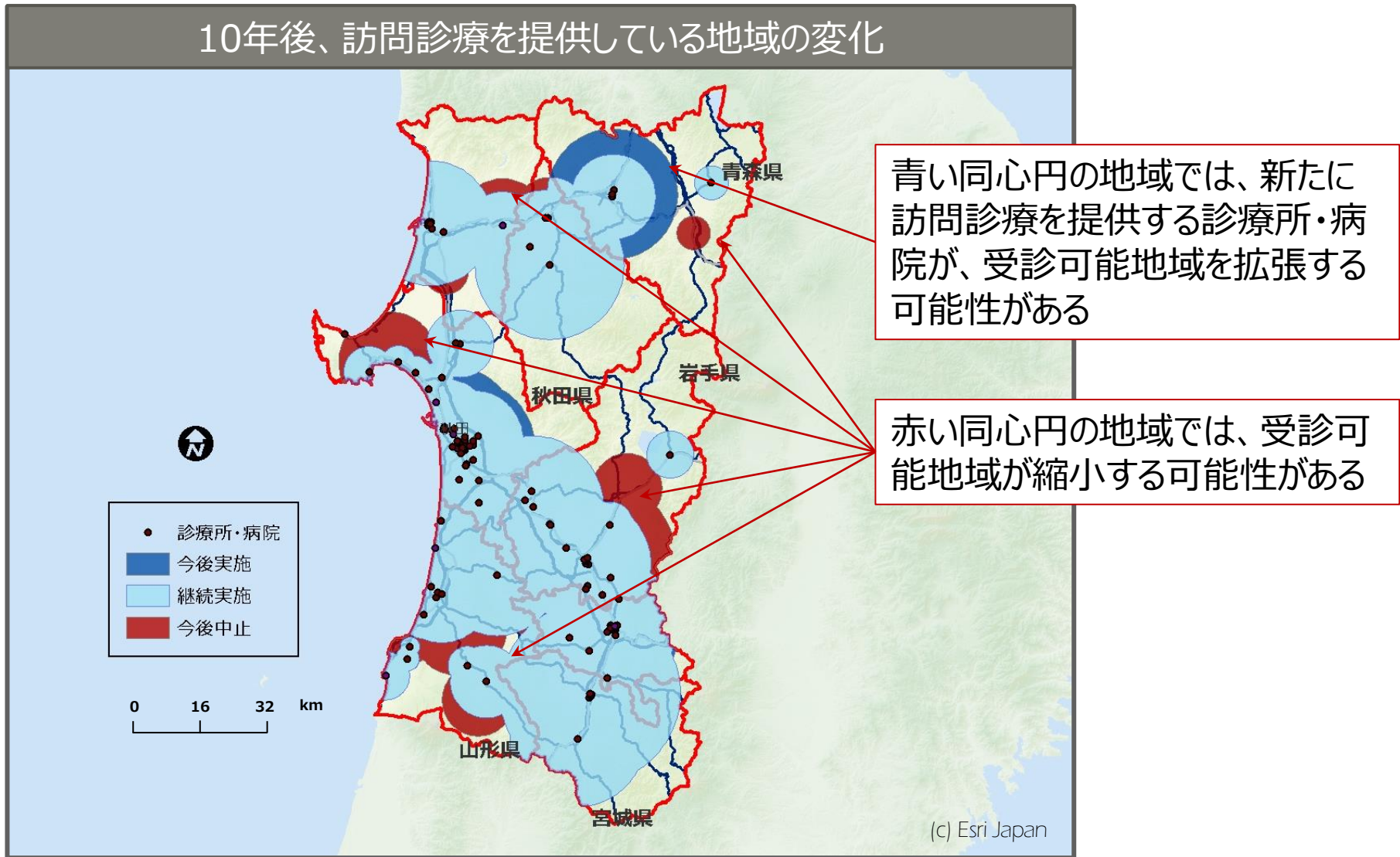


今後、訪問診療を始めると回答した医療機関は、医療機関から半径16Kmの同心円の内部を訪問診療すると仮定して描画した

10年後に訪問診療を止めていると回答した診療所・病院の同心円は描画していない

# 4-2-4. 訪問診療を提供している地域の変化

■ 秋田県全体における現在と10年後の受診可能地域の変化を下図に示す。

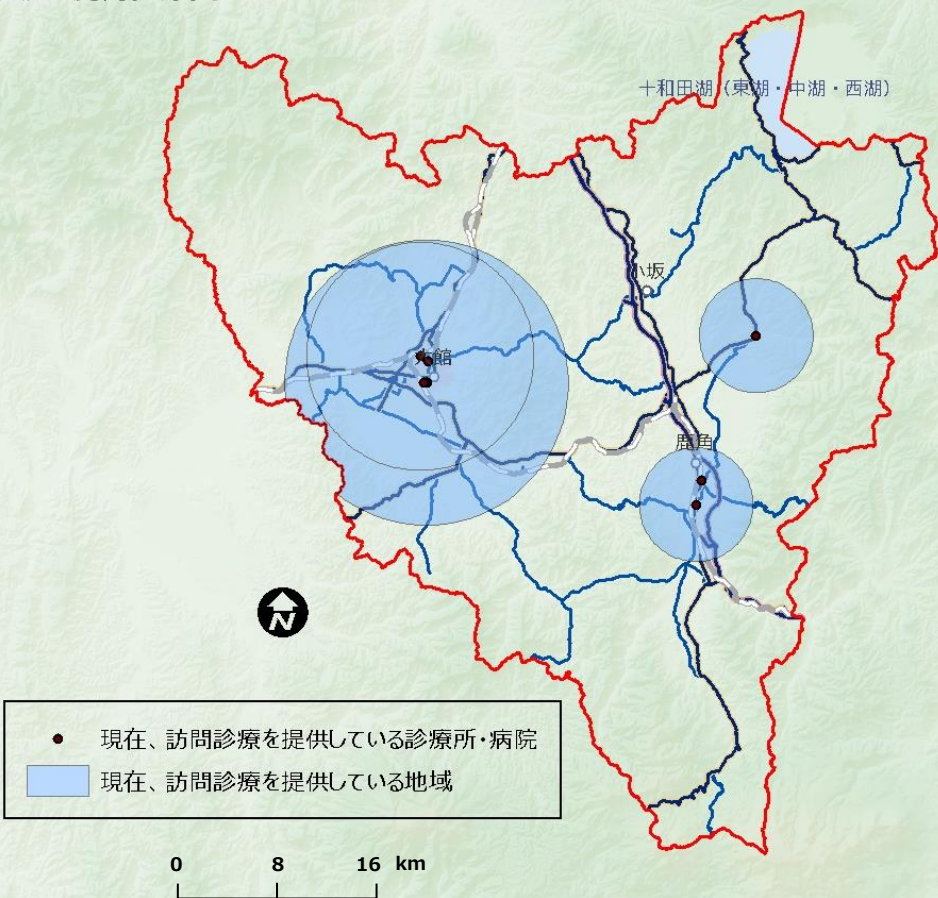


# 4-3-1. 訪問診療を提供している地域の変化

- 本ページ以降、医療圏毎に最初のページで受診可能地域を示し、次ページで患者数と医師数を示す。

現在、訪問診療を提供している地域

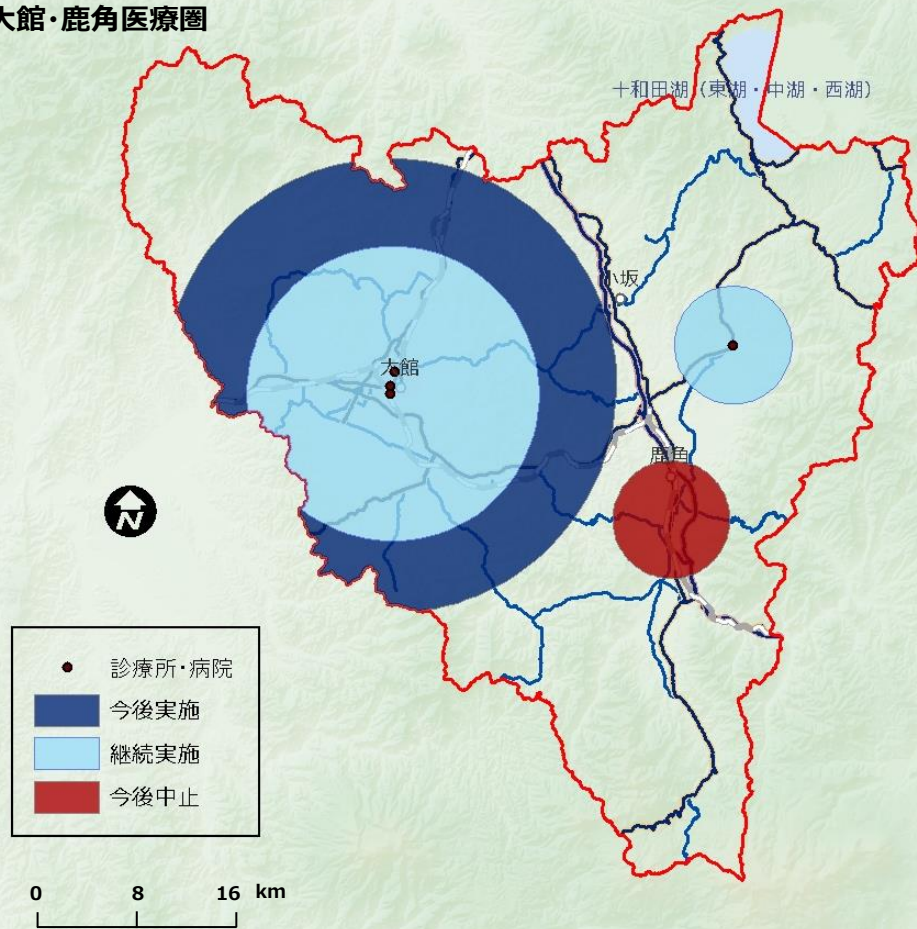
大館・鹿角医療圏



(c) Esri Japan

10年後、訪問診療を提供している地域の変化

大館・鹿角医療圏

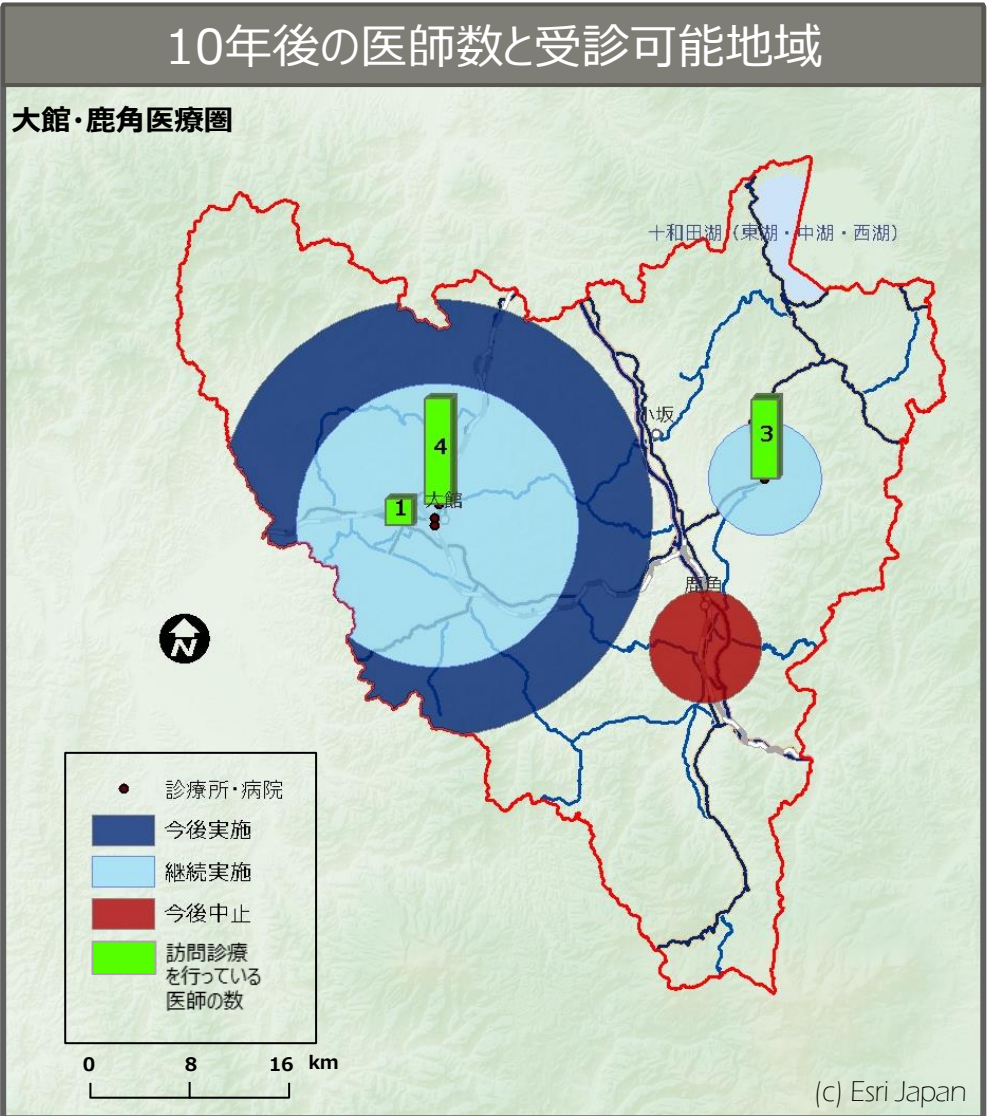
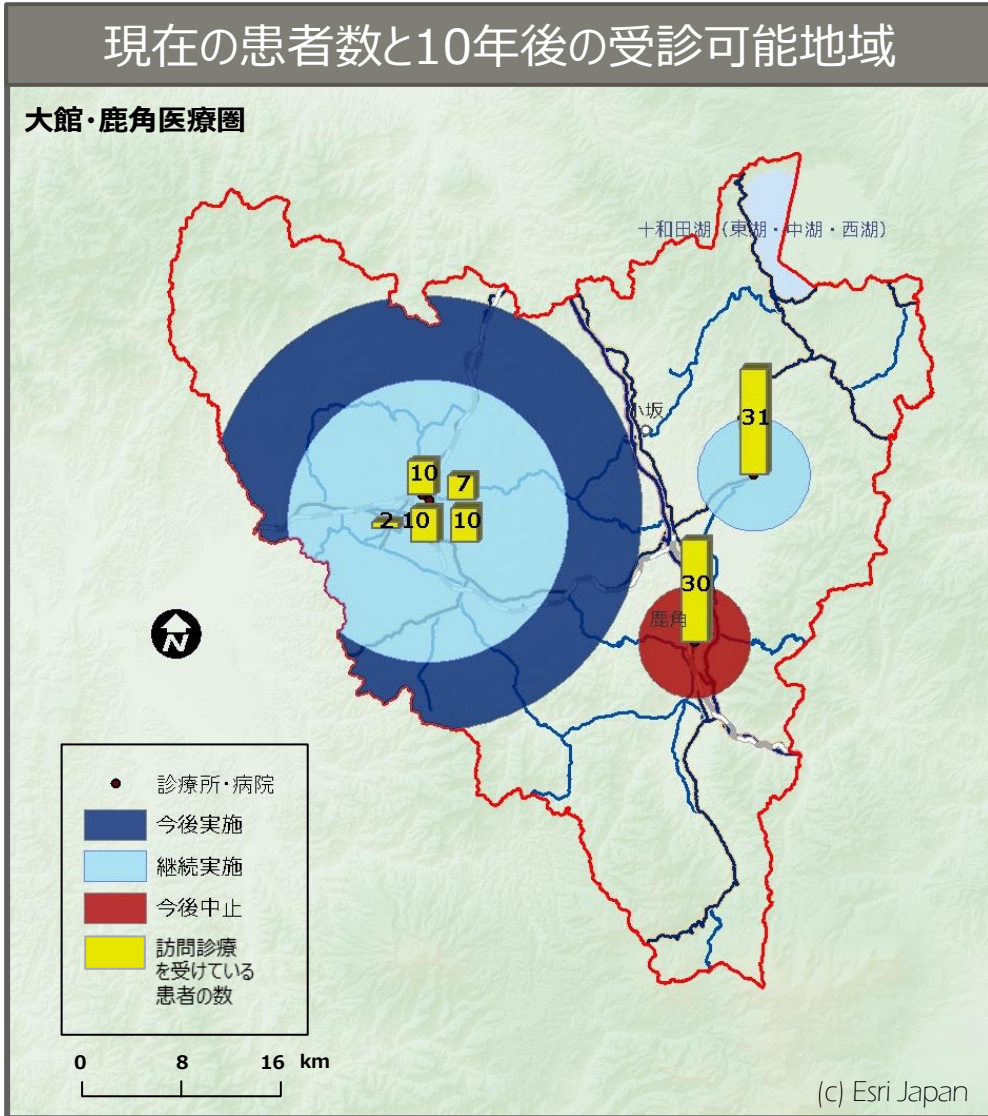


(c) Esri Japan



# 4-3-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

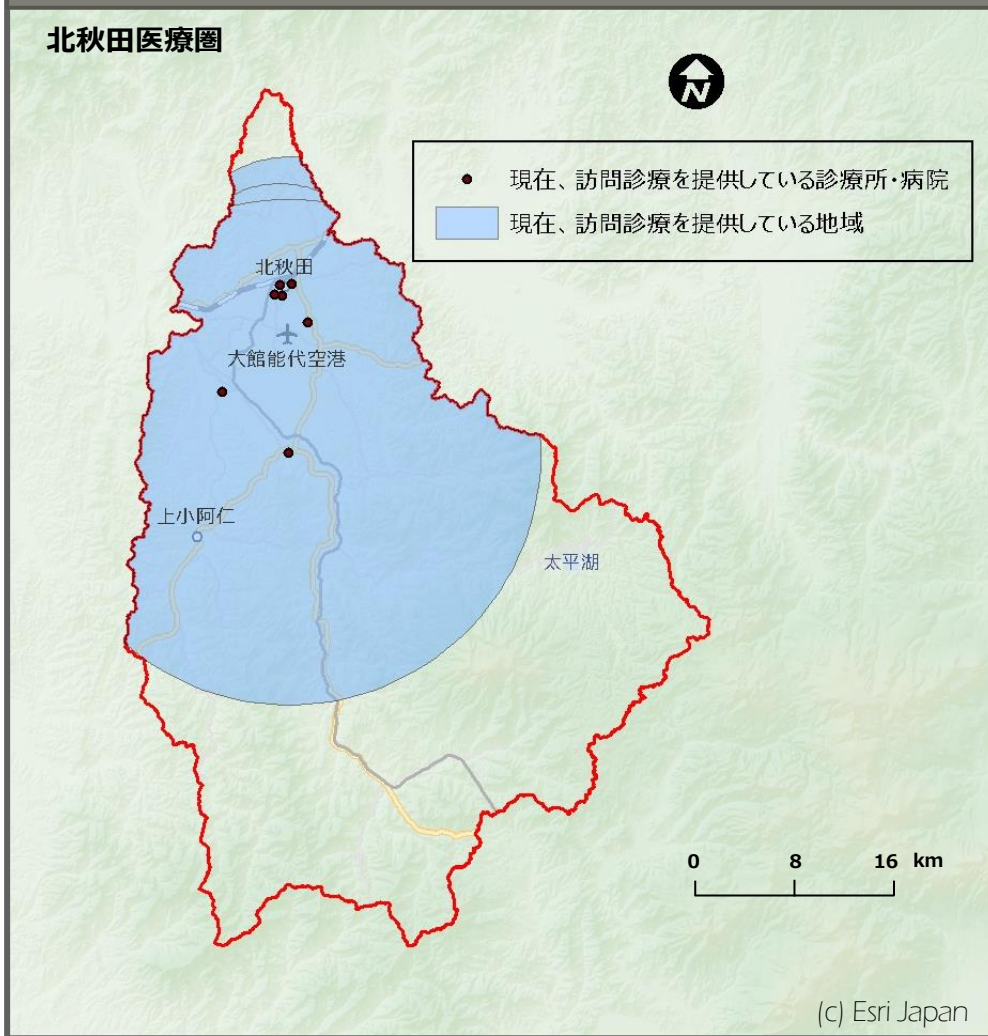
■ 各棒グラフは、その位置にある診療所・病院が訪問診療する患者の数と訪問診療する医師の数を示す。



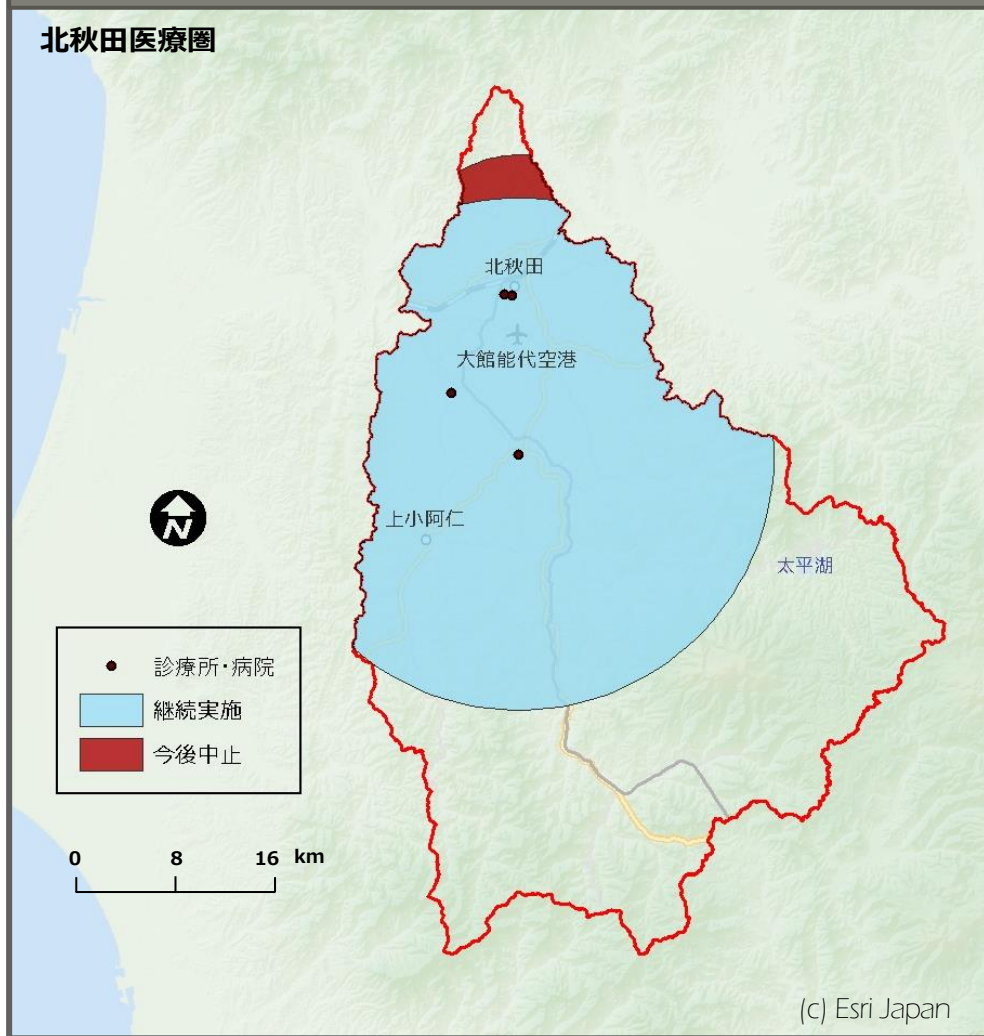
# 4-4-1. 訪問診療を提供している地域の変化

- 北秋田医療圏の受診可能地域は、北部で縮小すると考えられる。

現在、訪問診療を提供している地域

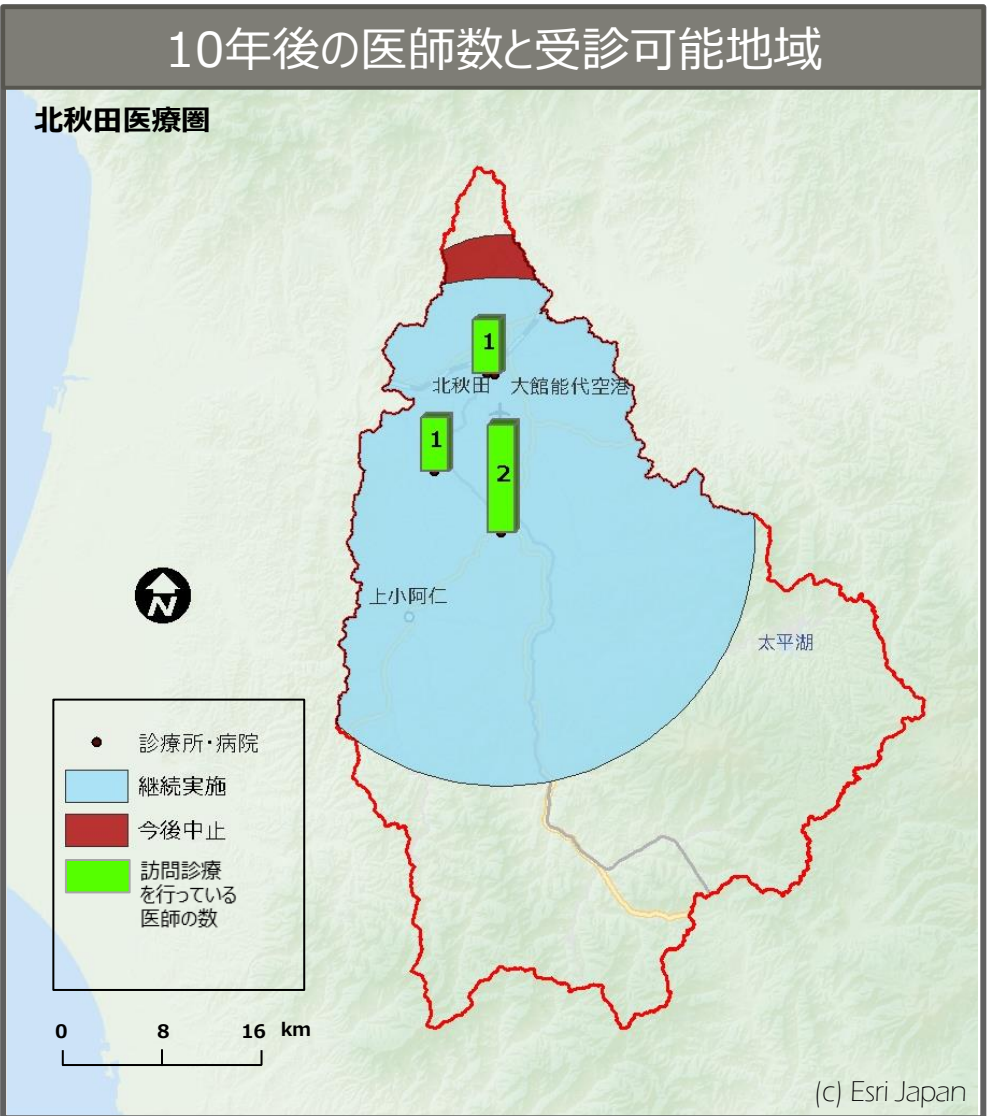
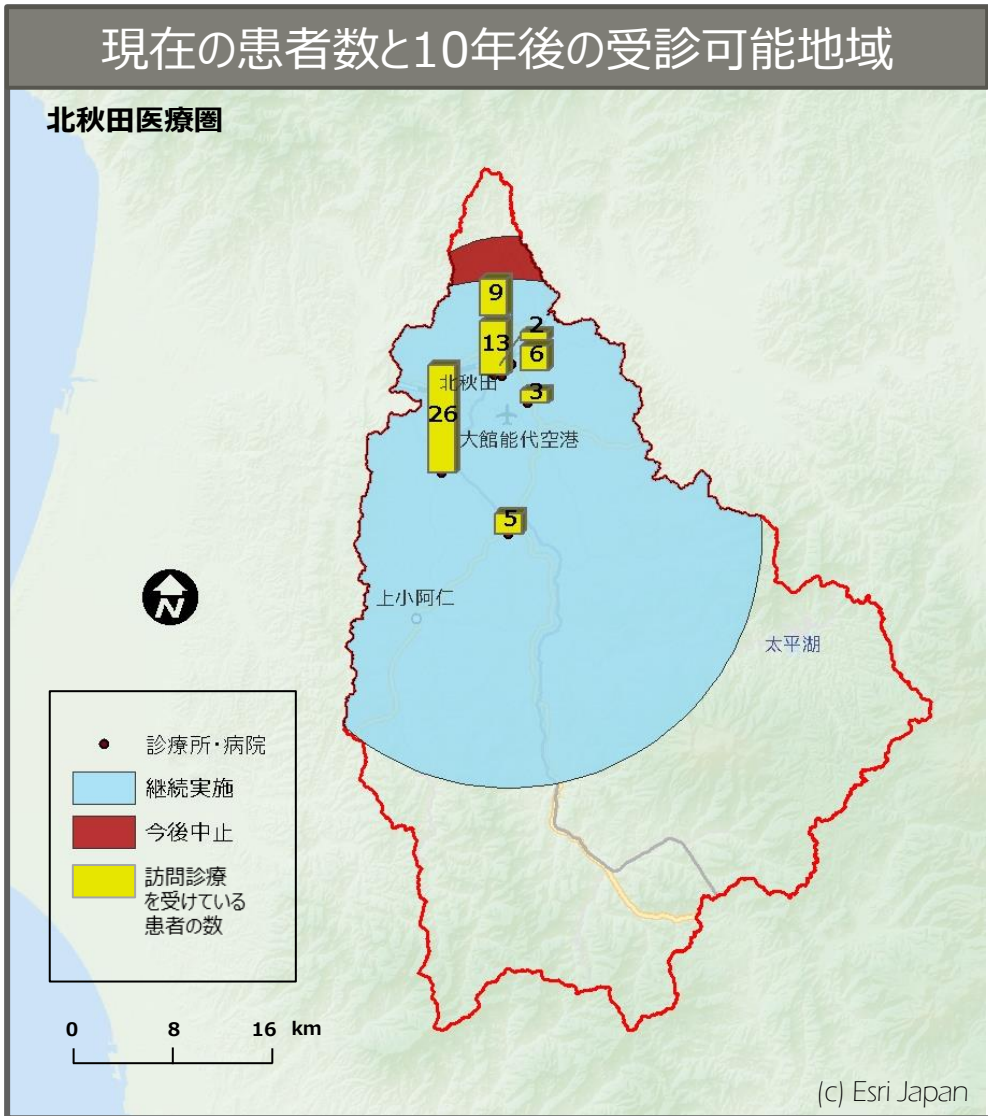


10年後、訪問診療を提供している地域の変化



# 4-4-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

■ 訪問診療を行う医師が増えない場合、訪問診療を担う医師は医療圏全体で計4名となる見込み。

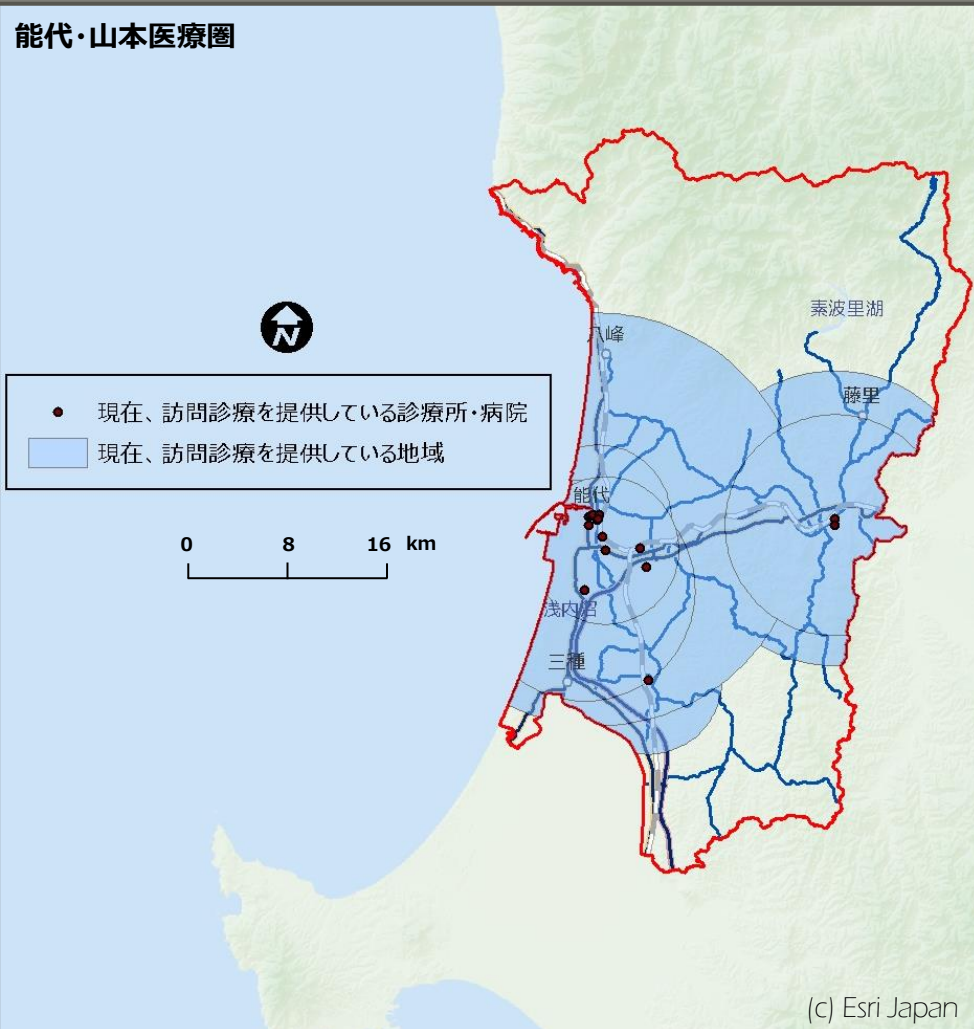


# 4-5-1. 訪問診療を提供している地域の変化

- 受診可能地域は、医療圏東部で顕著に縮小する可能性がある。

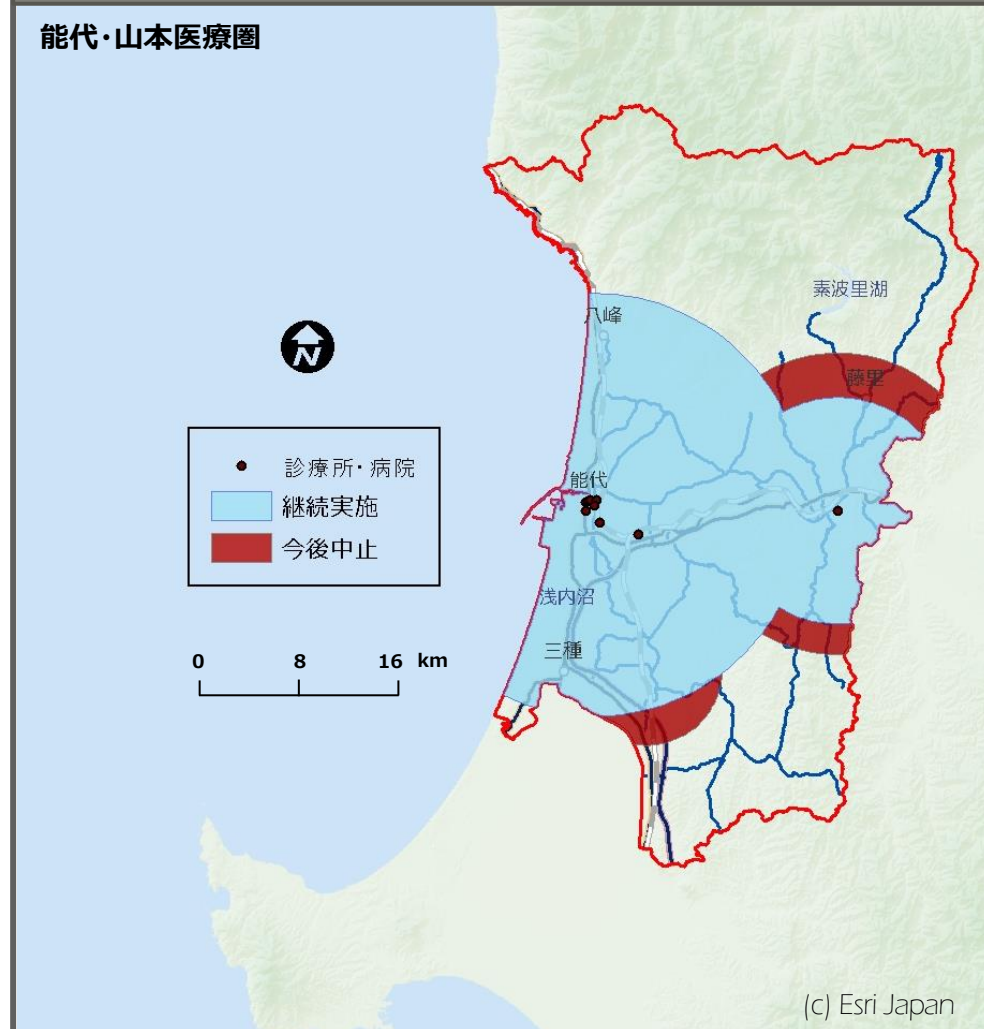
現在、訪問診療を提供している地域

能代・山本医療圏



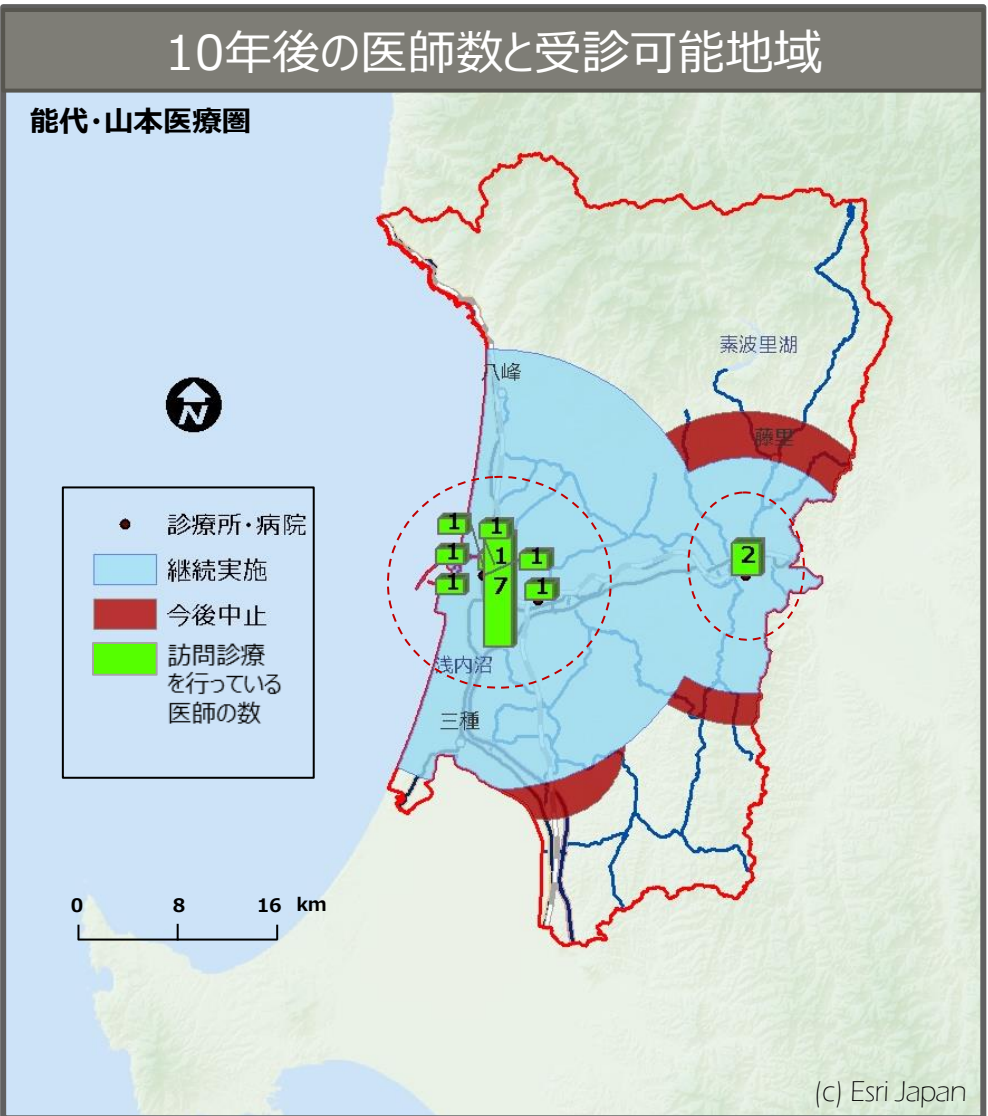
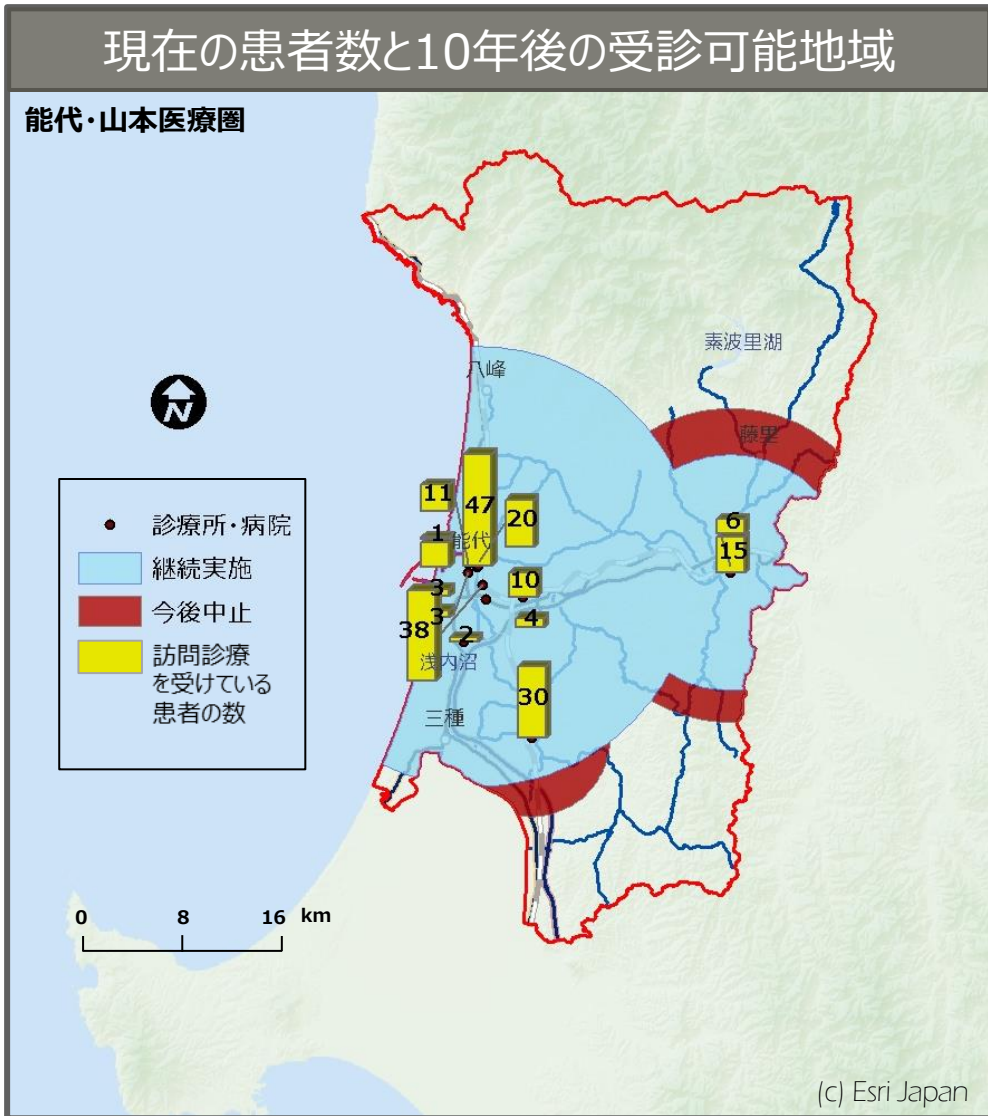
10年後、訪問診療を提供している地域の変化

能代・山本医療圏



# 4-5-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

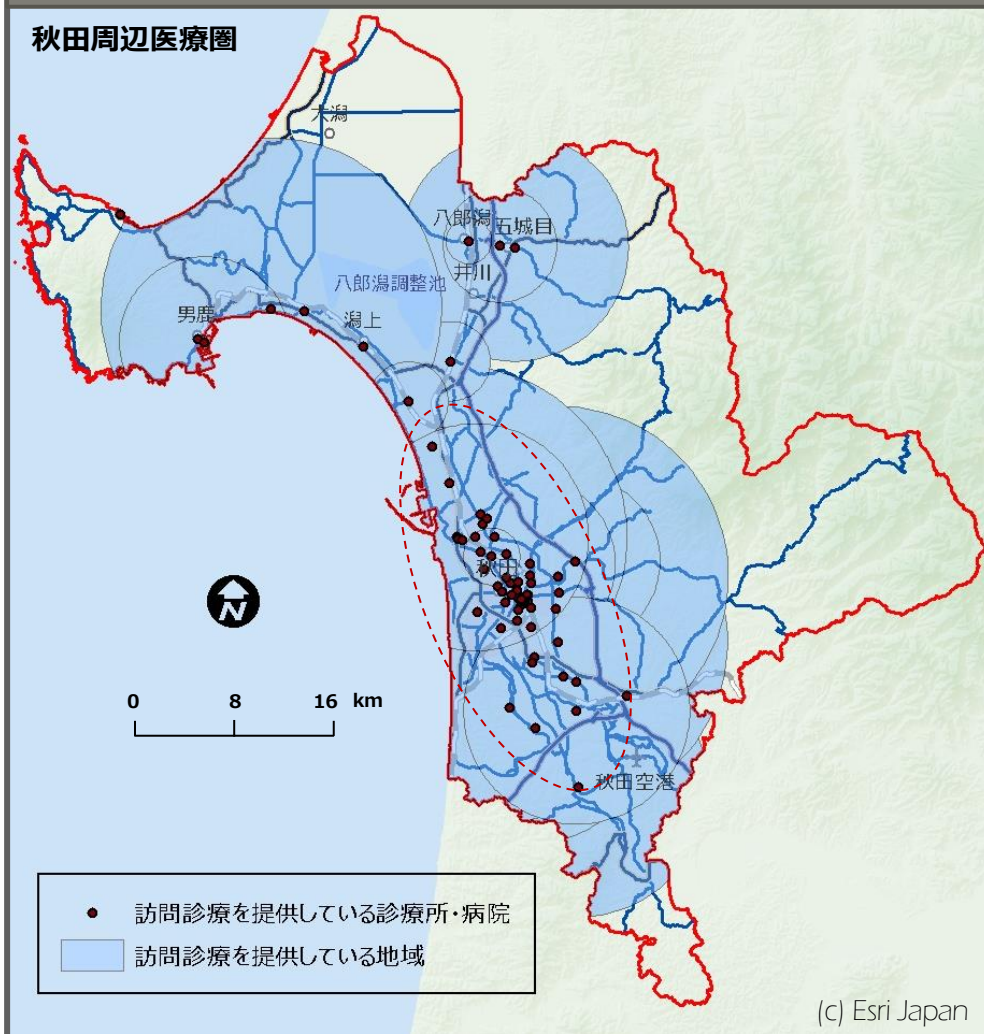
■ 医療圏西部では現在とほぼ同じ面積の受診可能地域に対し、現在より少ない医師で対応する見込み。



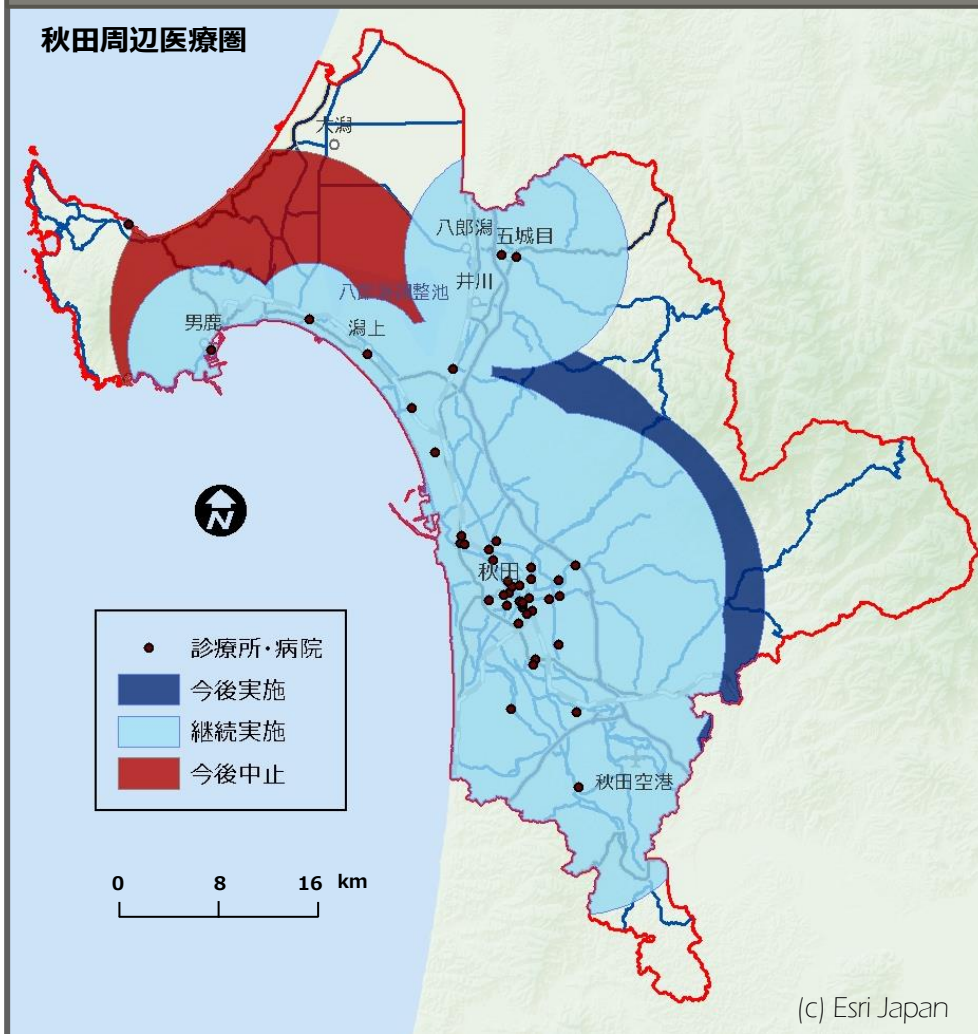
# 4-6-1. 訪問診療を提供している地域の変化

- 秋田市には、訪問診療を提供している診療所・病院が集中しており、同じ医療圏内の他地域と異なる。

現在、訪問診療を提供している地域

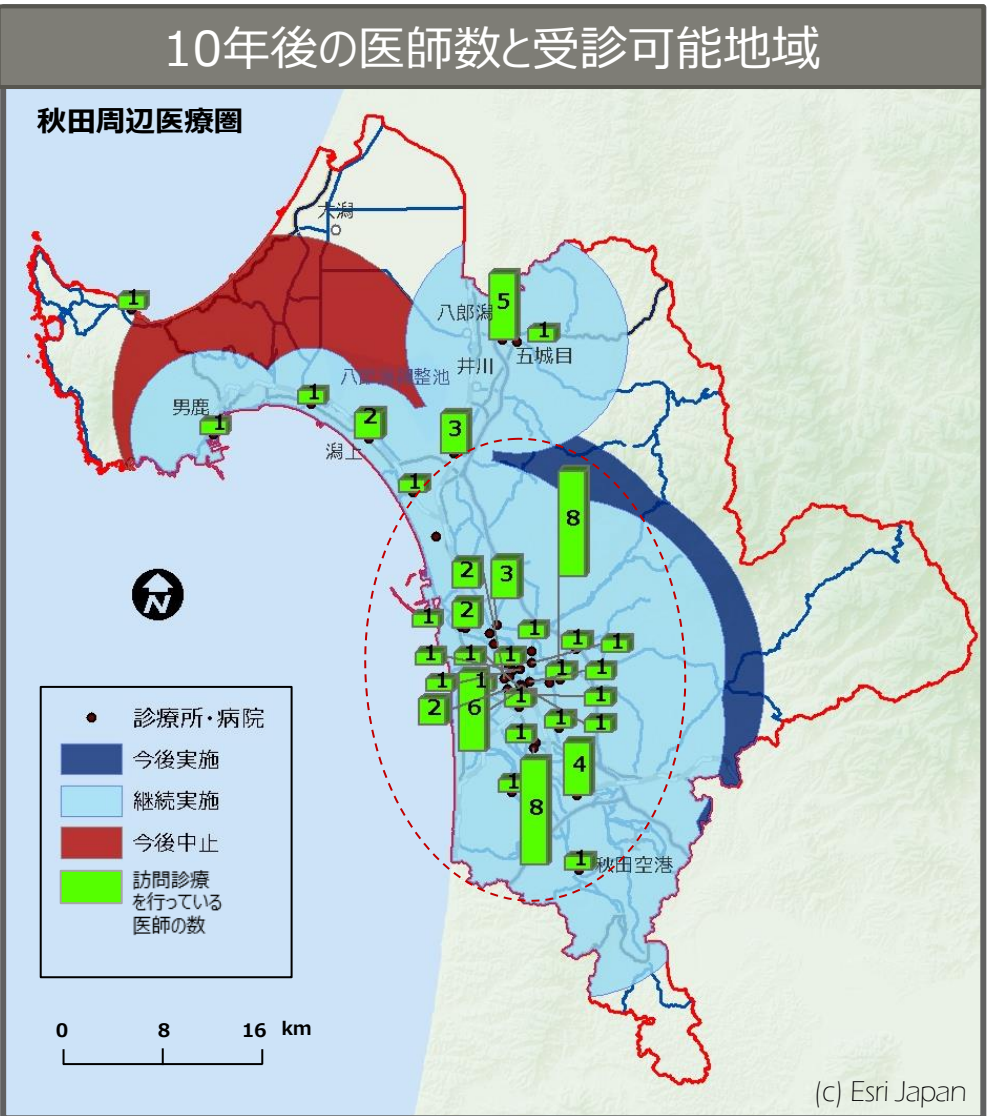
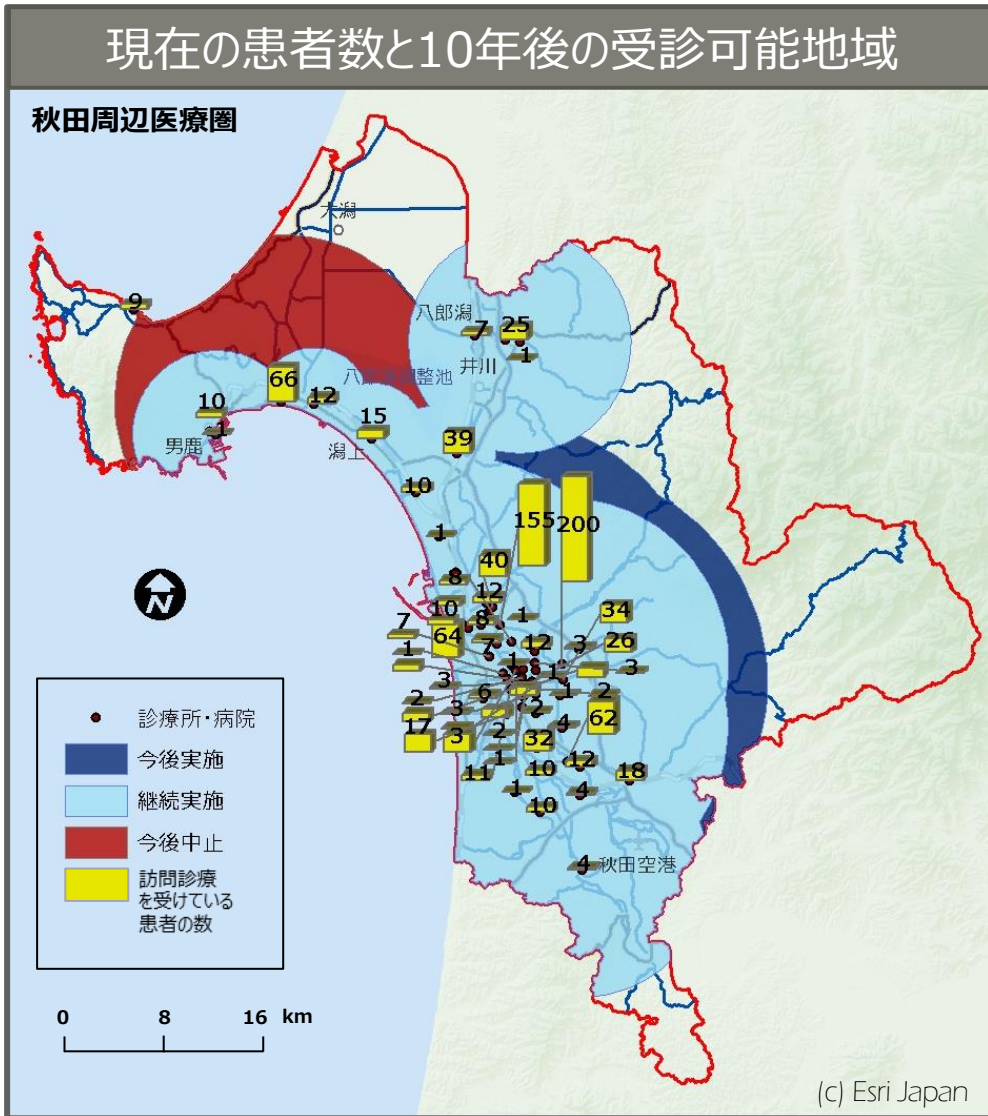


10年後、訪問診療を提供している地域の変化



# 4-6-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

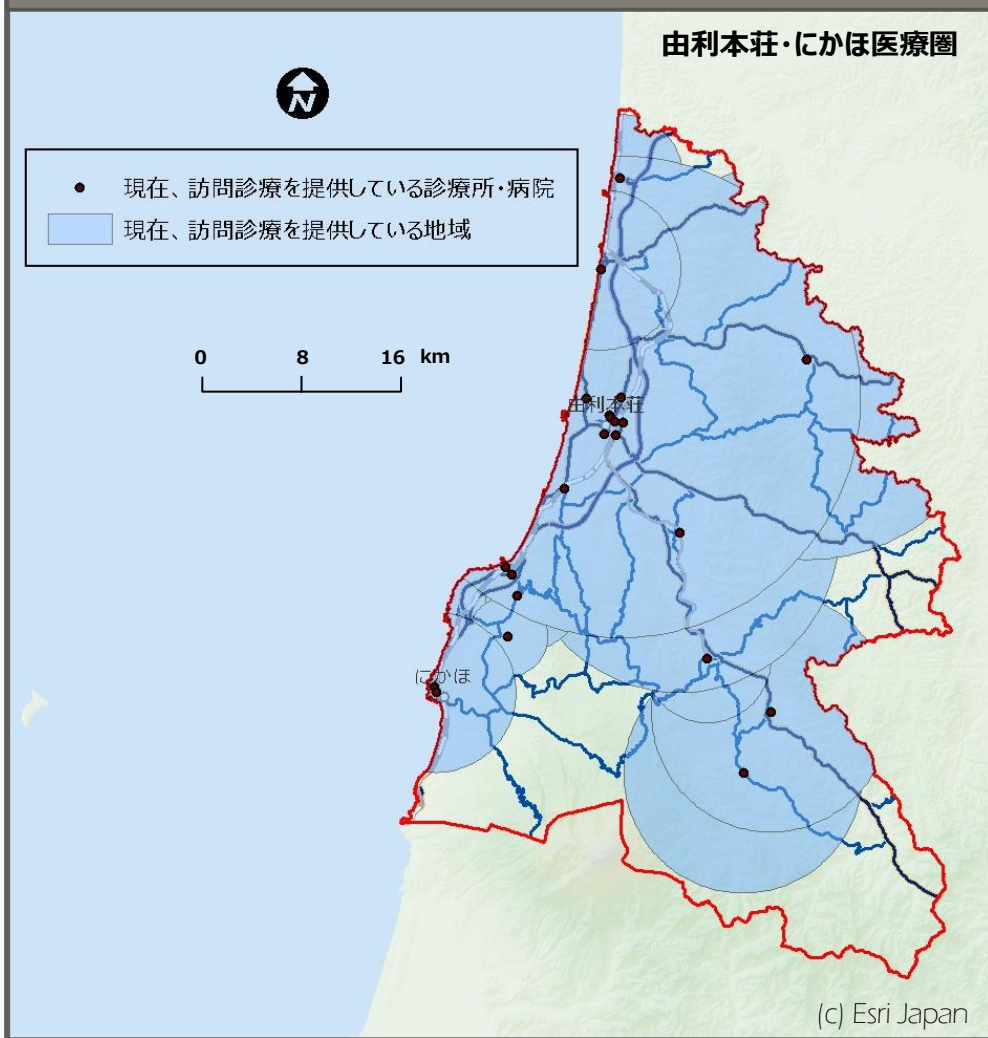
■ 受診可能地域は、秋田市北東部で広がる一方、男鹿半島周辺では狭まる可能性がある。



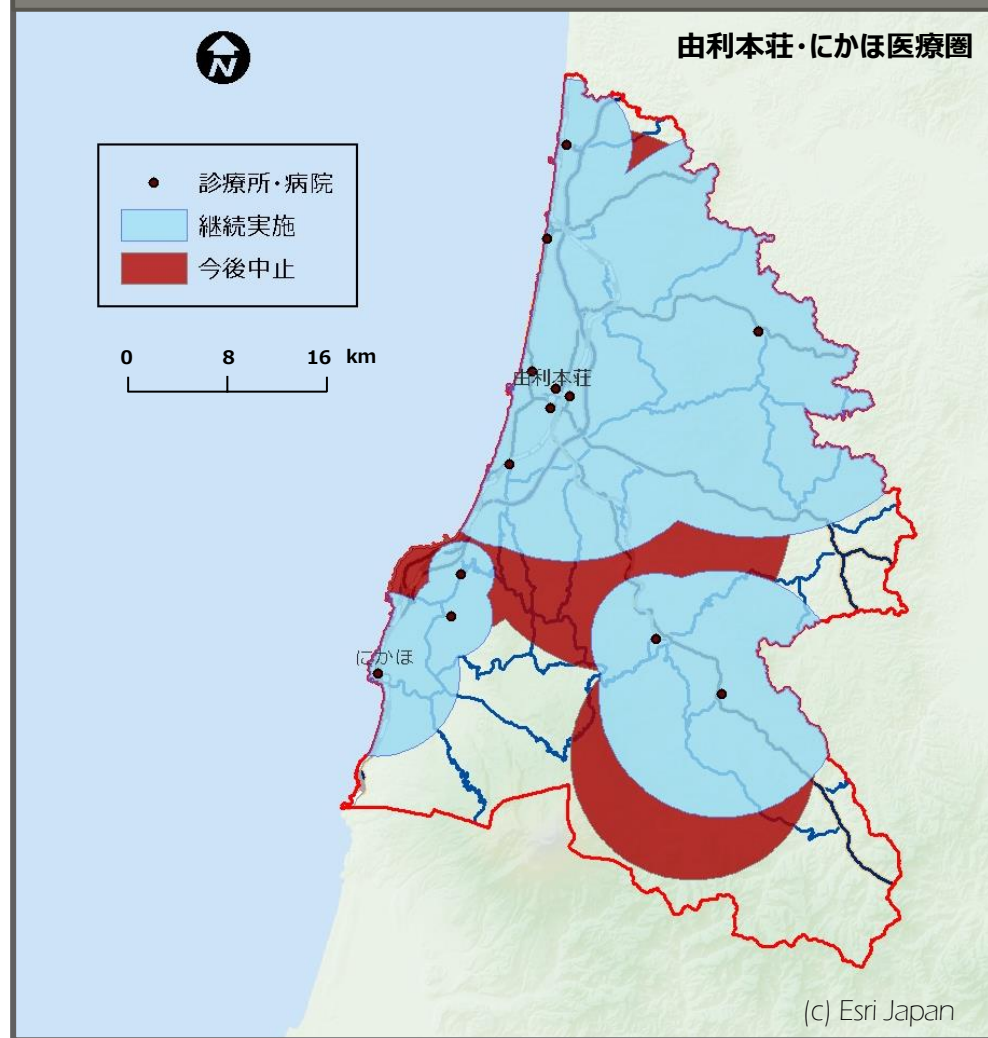
# 4-7-1. 訪問診療を提供している地域の変化

- 主として医療圏南部で受診可能地域が縮小する可能性がある。

現在、訪問診療を提供している地域



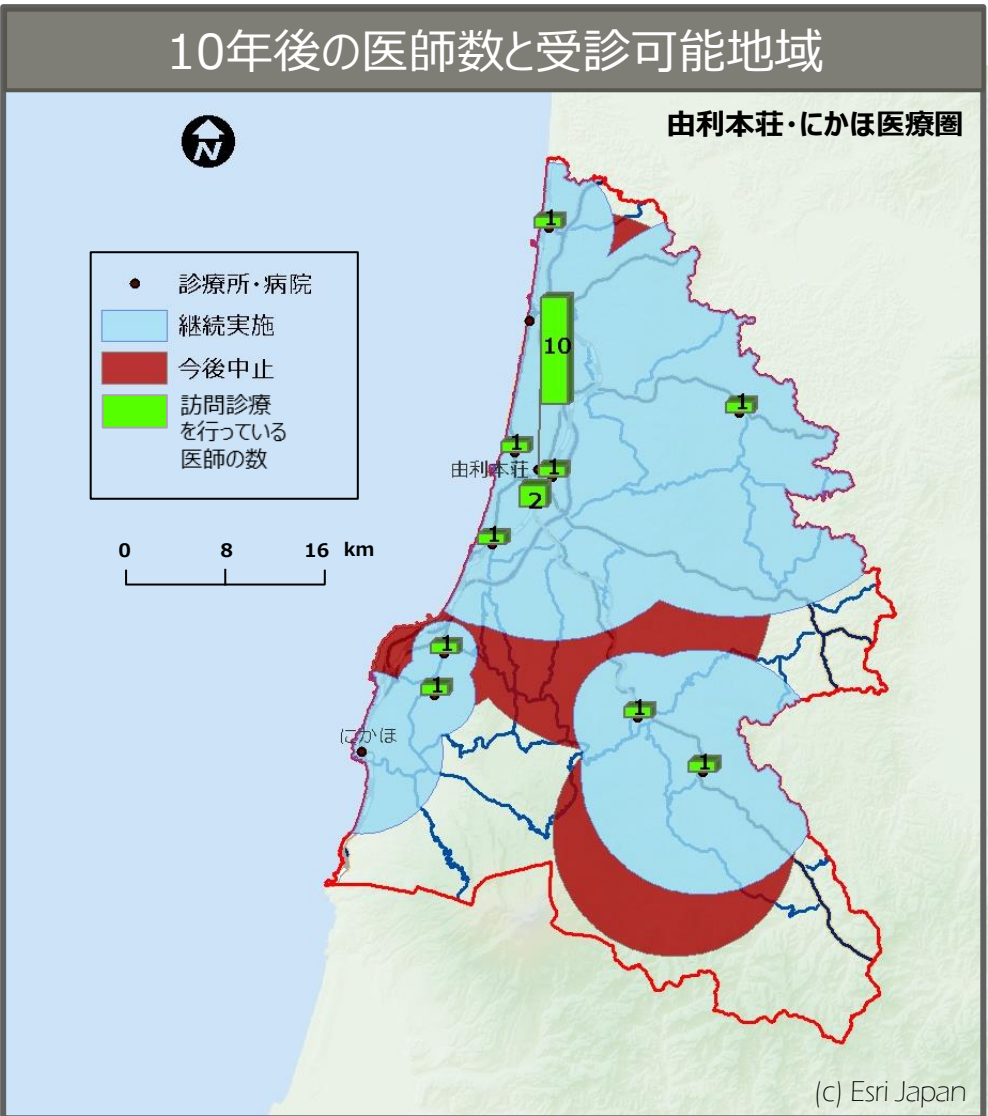
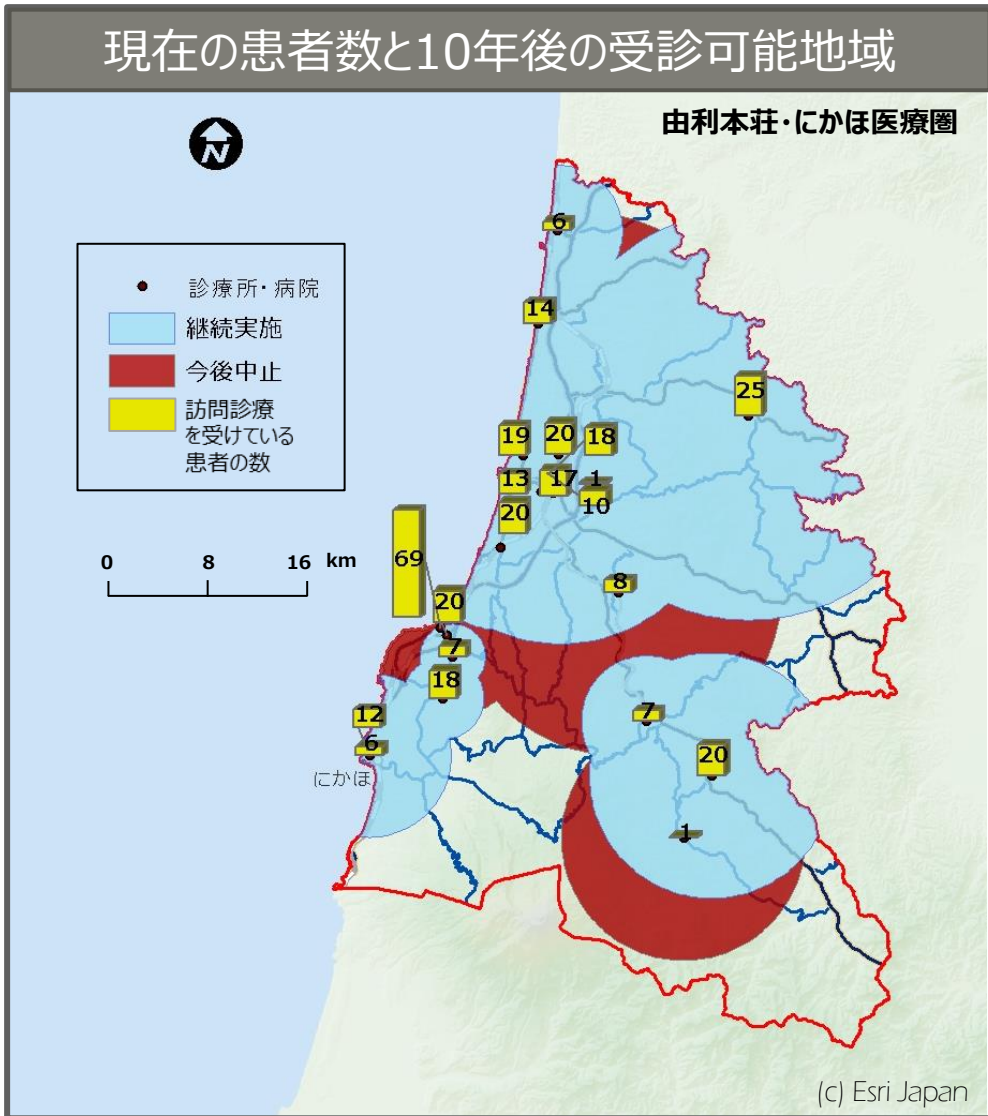
10年後、訪問診療を提供している地域の変化





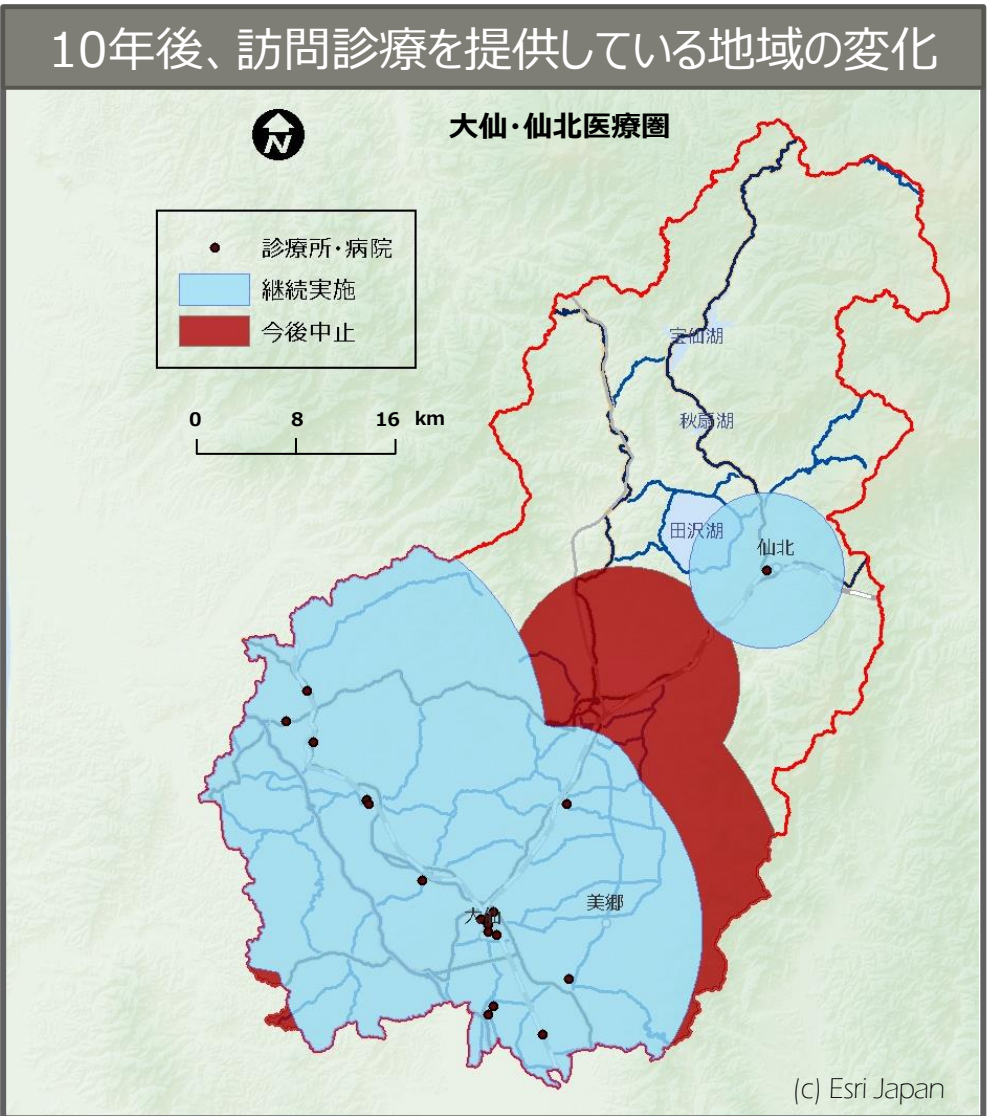
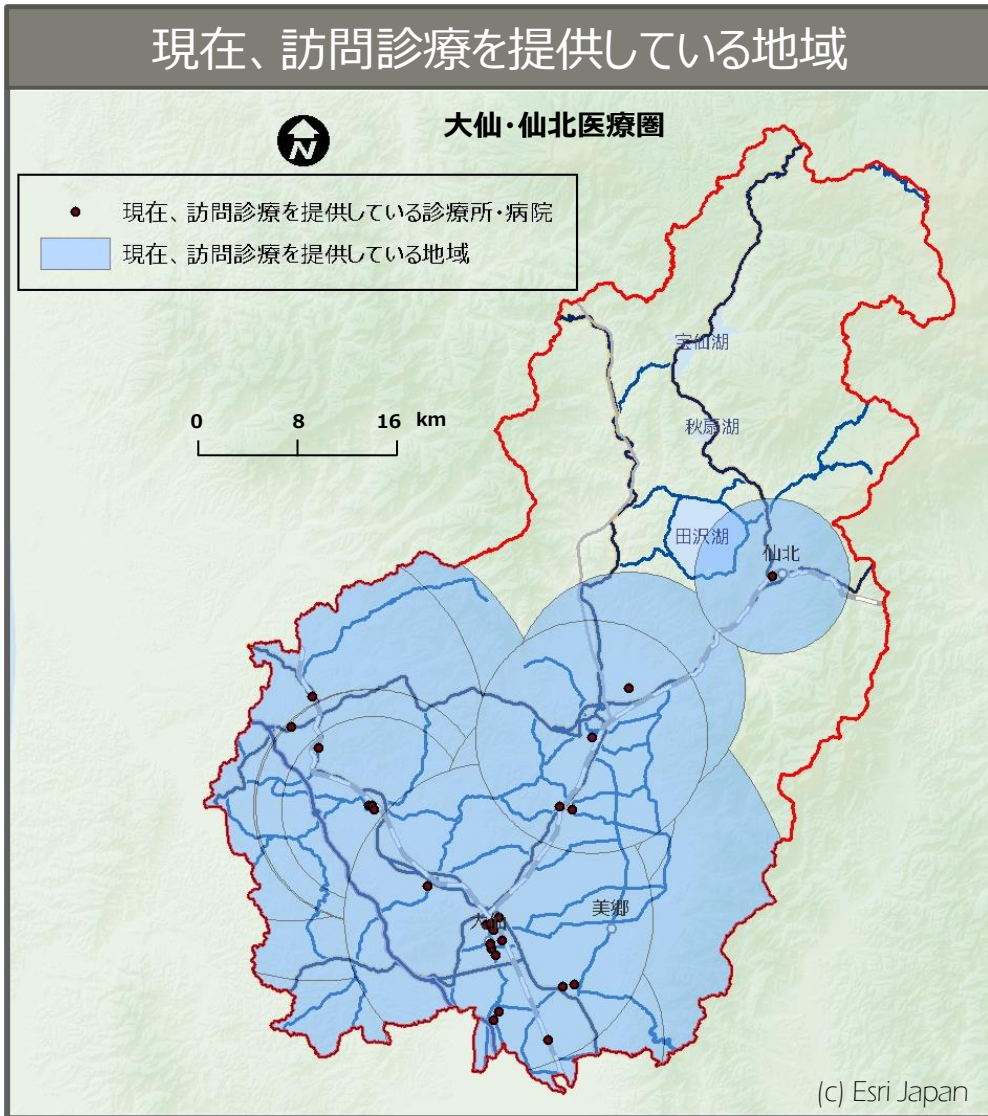
# 4-7-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

■ 10年後に縮小が予想される受診可能地域は、患者数、医師数ともに少ない。



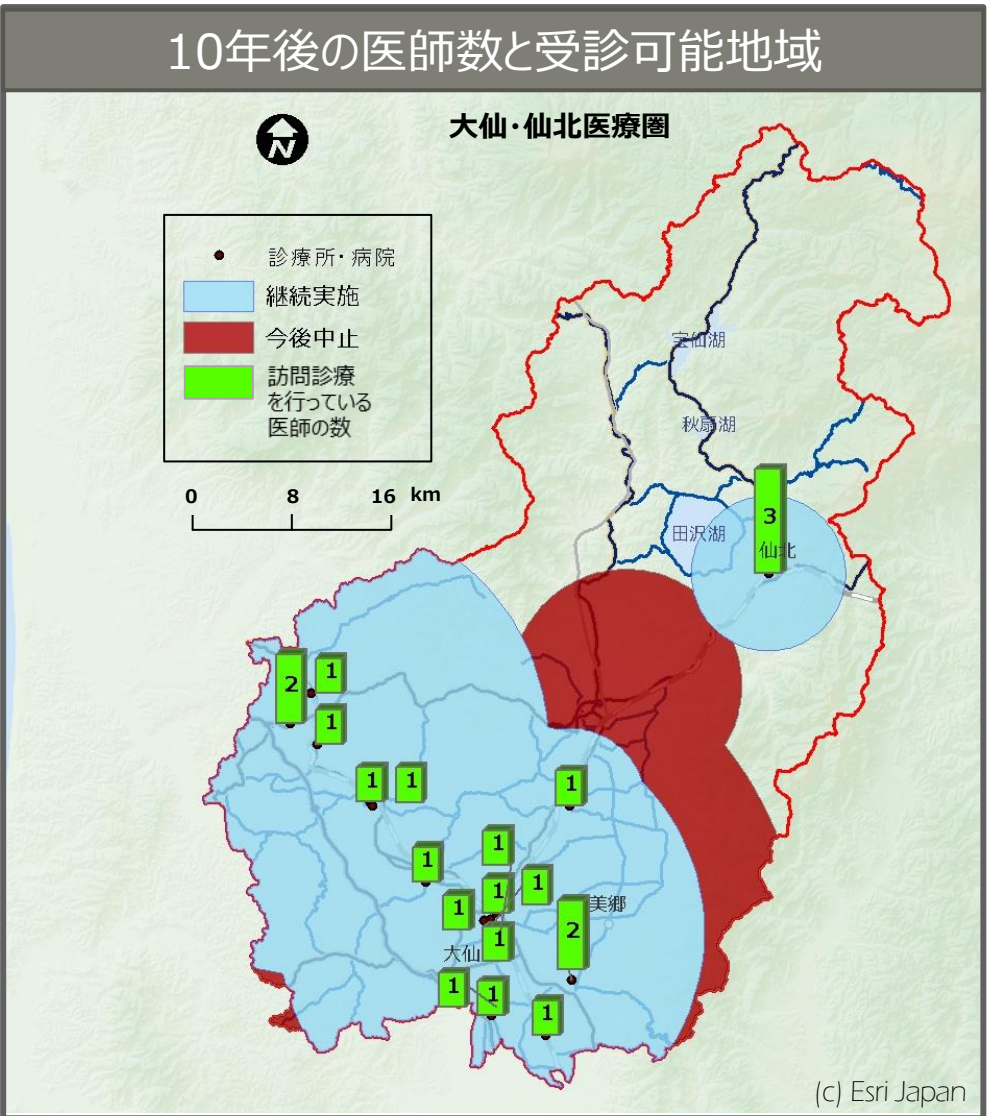
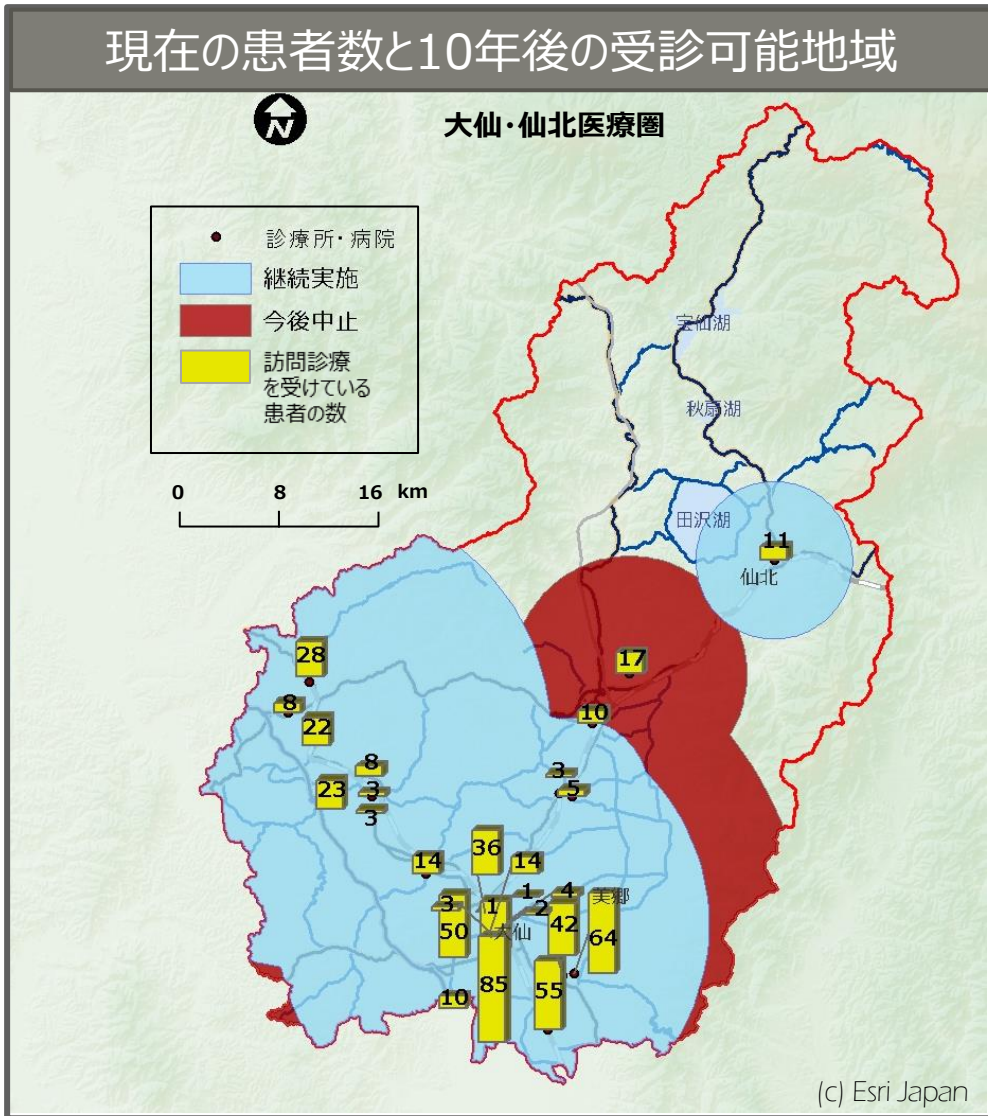
# 4-8-1. 現在、訪問診療を提供している地域

■ 角館地域周辺等で受診可能地域が縮小する可能性がある。



# 4-8-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

■ 10年後受診可能地域にある診療所・病院では、訪問診療を行う医師が1名の場合が多い。



# 4-9-1. 訪問診療を提供している地域の変化

■ 10年後は、診療所・病院が減少するものの、受診可能地域は拡大する可能性がある。

### 現在、訪問診療を提供している地域

横手医療圏

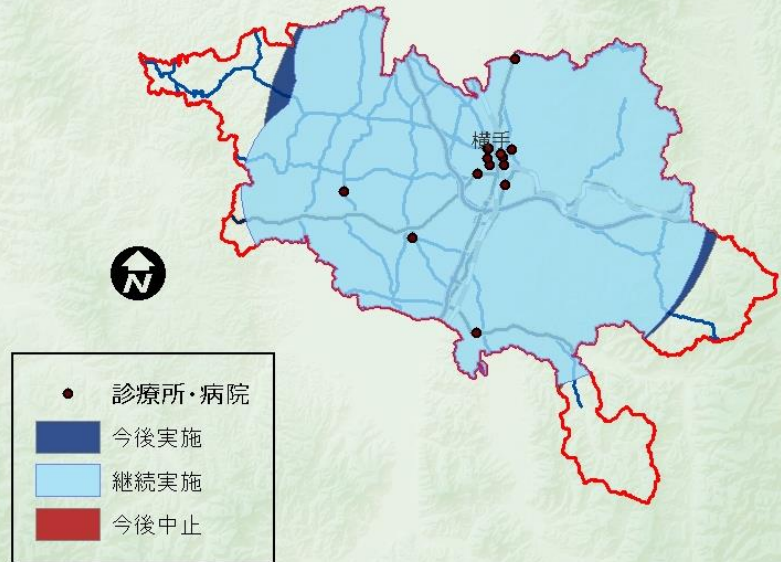


● 現在、訪問診療を提供している診療所・病院  
■ 現在、訪問診療を提供している地域

(c) Esri Japan

### 10年後、訪問診療を提供している地域の変化

横手医療圏

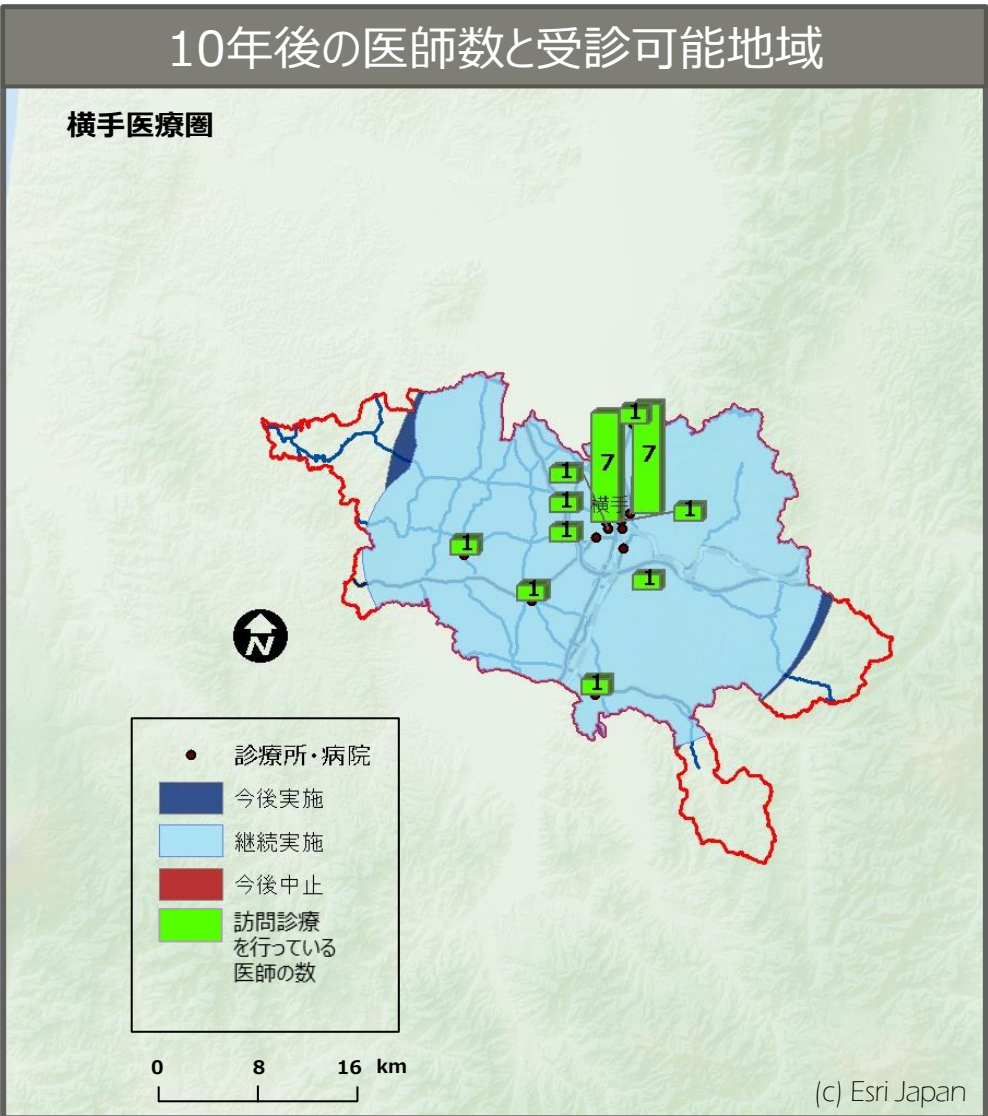
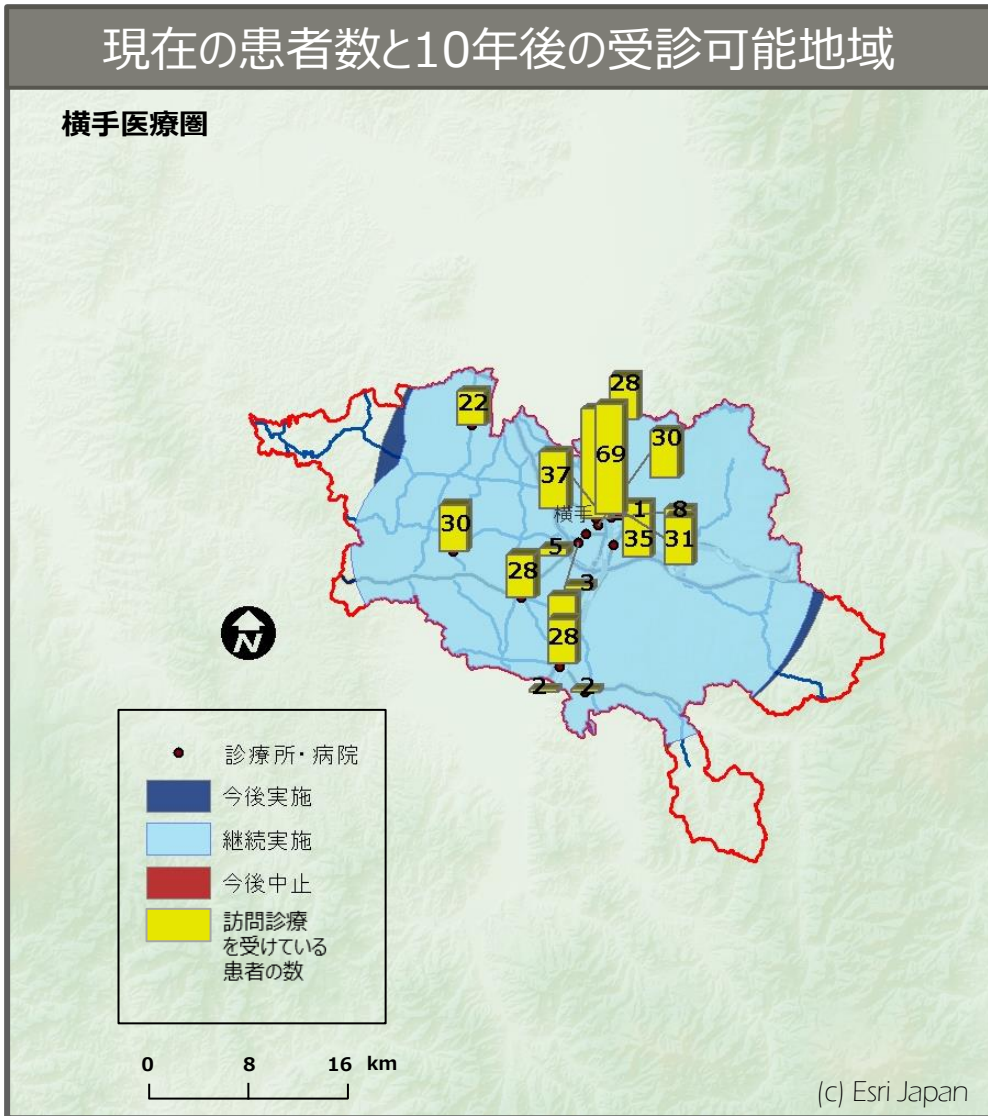


● 診療所・病院  
■ 今後実施  
■ 継続実施  
■ 今後中止

(c) Esri Japan

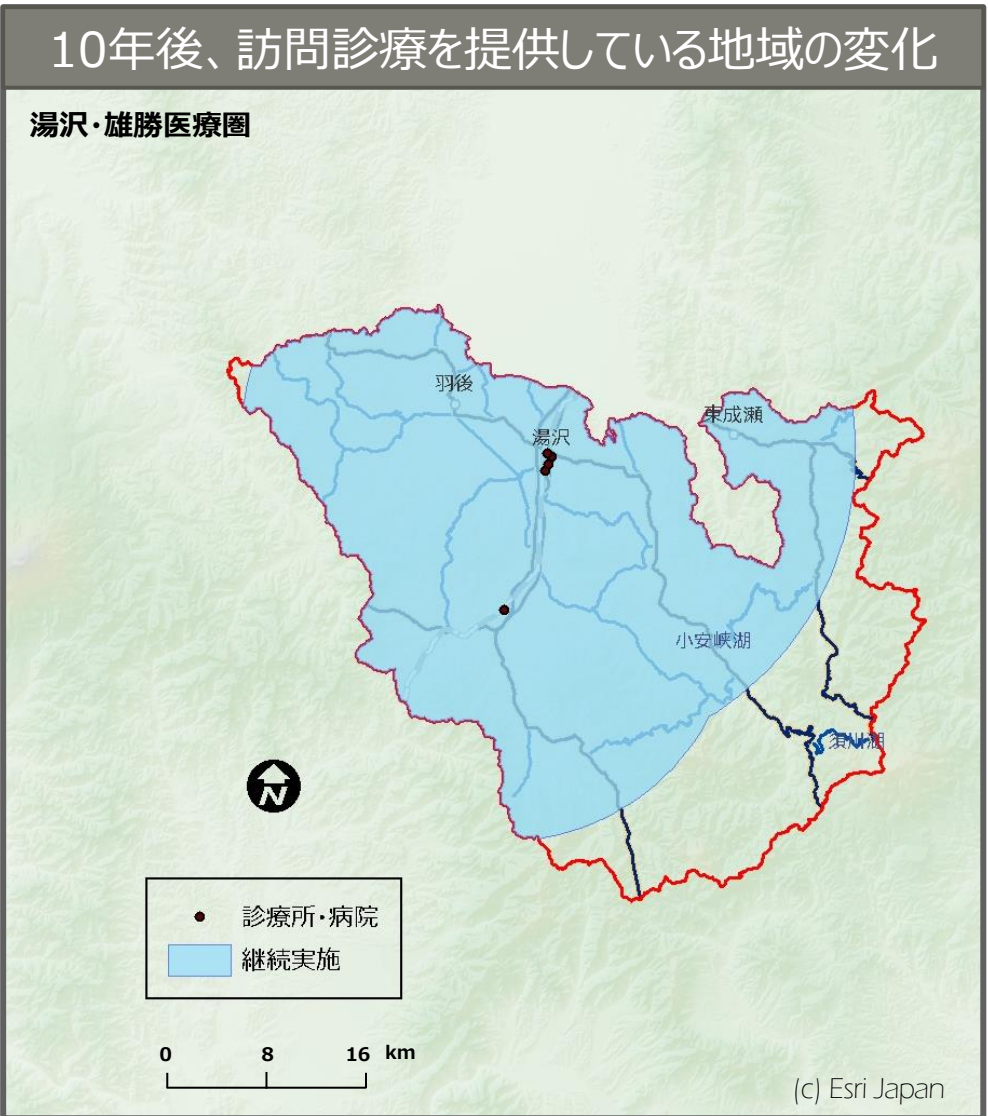
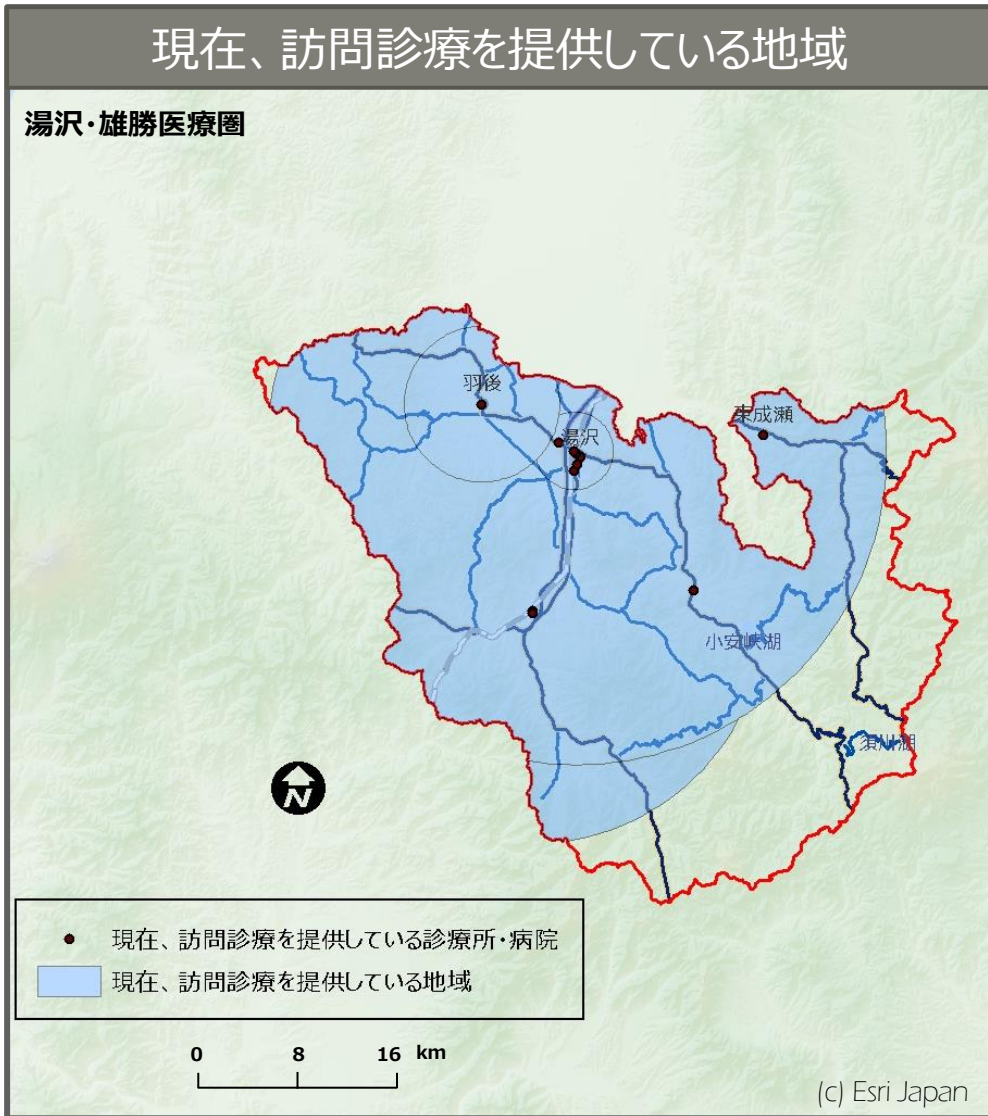
# 4-9-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

■ 受診可能地域が拡大する一方医師数は減少するため、訪問診療を行う医師の負担は増える見込み。



# 4-10-1. 訪問診療を提供している地域の変化

■ 湯沢・雄勝医療圏では、10年後も受診可能地域が維持できると考えられる。



# 4-10-2. 医師数、患者数から見る10年後の訪問診療

■ 受診可能地域に変化は無いが、診療所・病院が集中する地域から離れた地域で医師が減少する。

